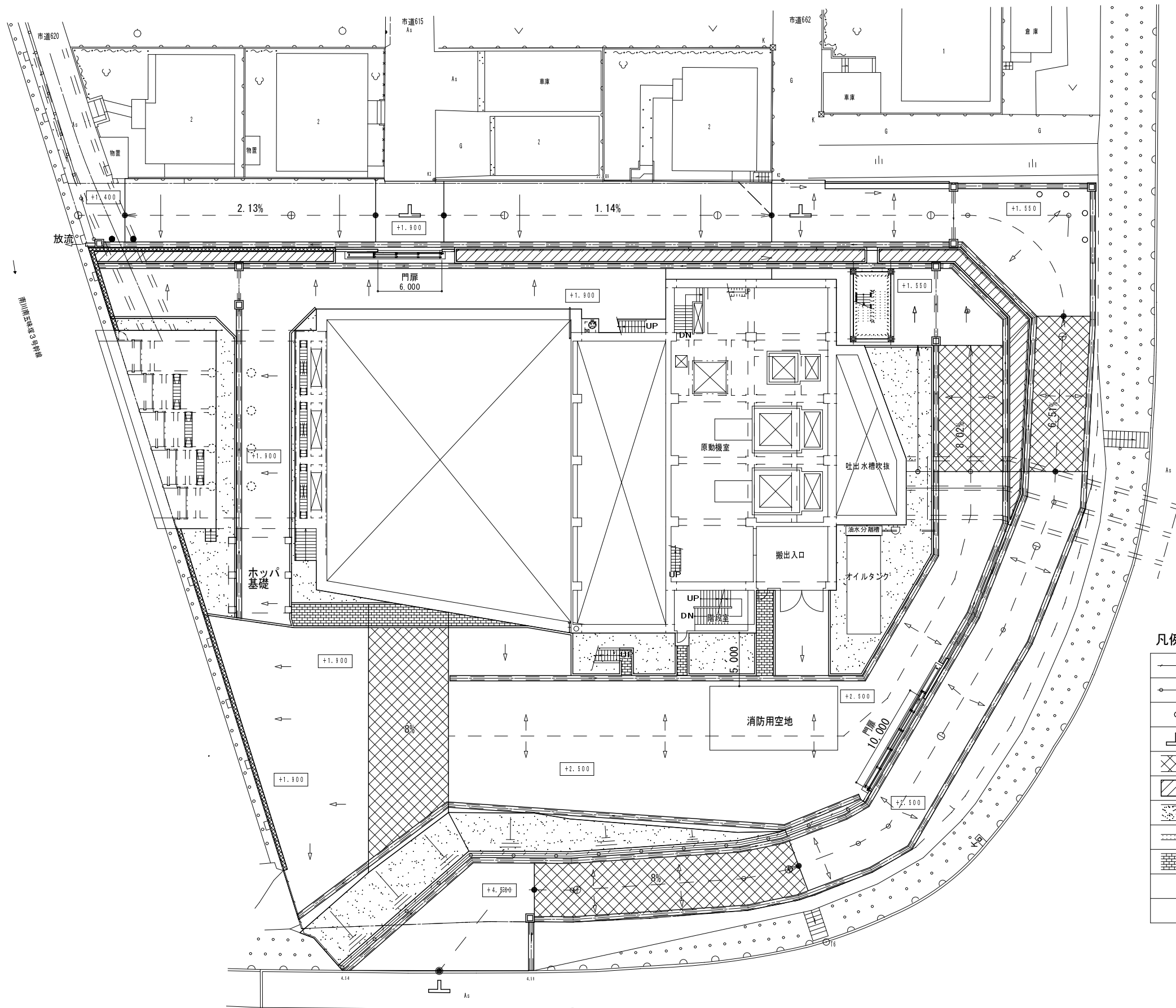
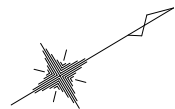


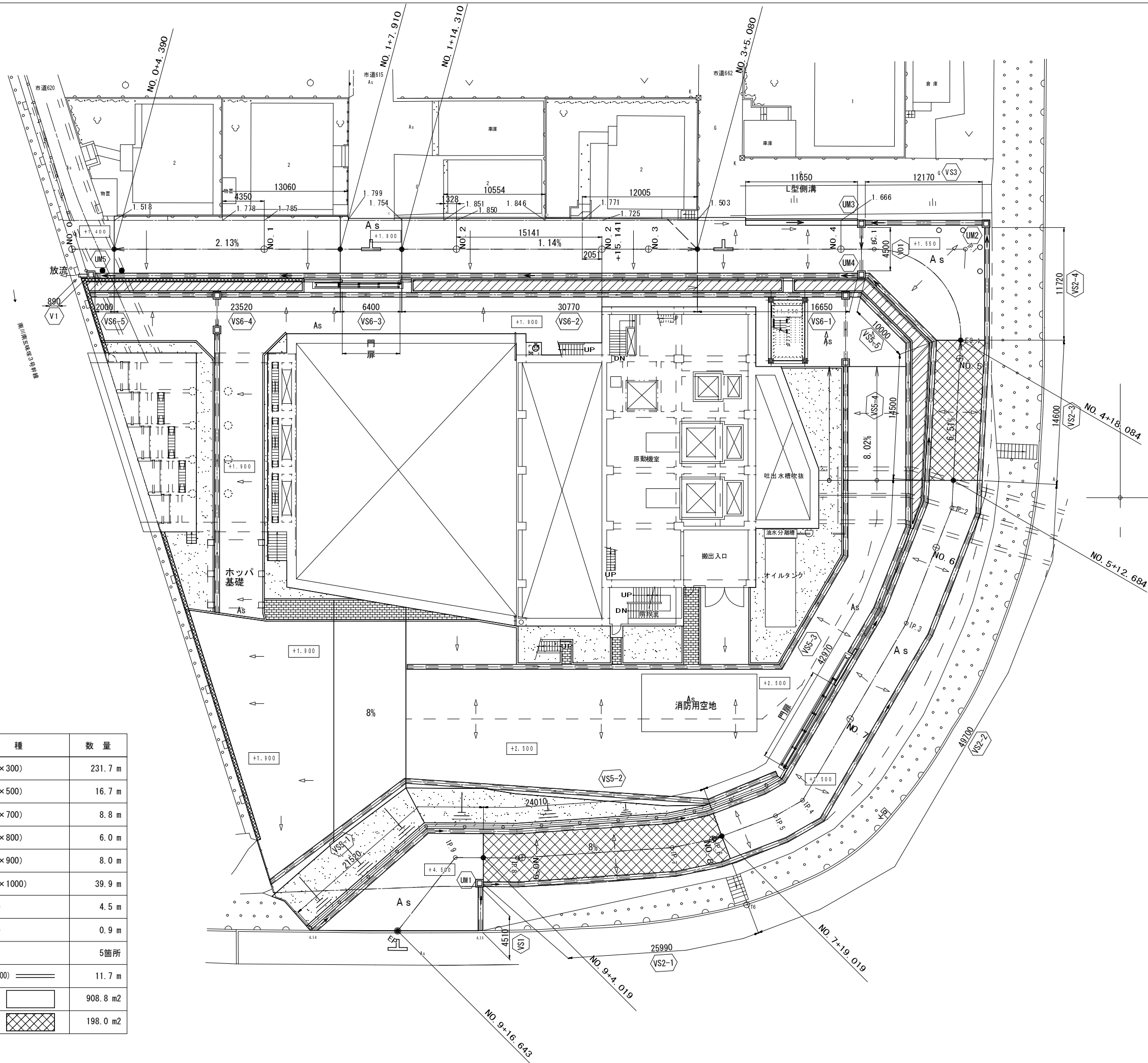


凡例

	フェンス H=1500
	ガードレール
	デリネーター ×6カ所
	クロスマーク (15cm換算)
	すべり止め舗装 密粒ギャップアスファルト混合物 (TOP13)
	植栽
	砕石敷
	側溝
	インターロッキング

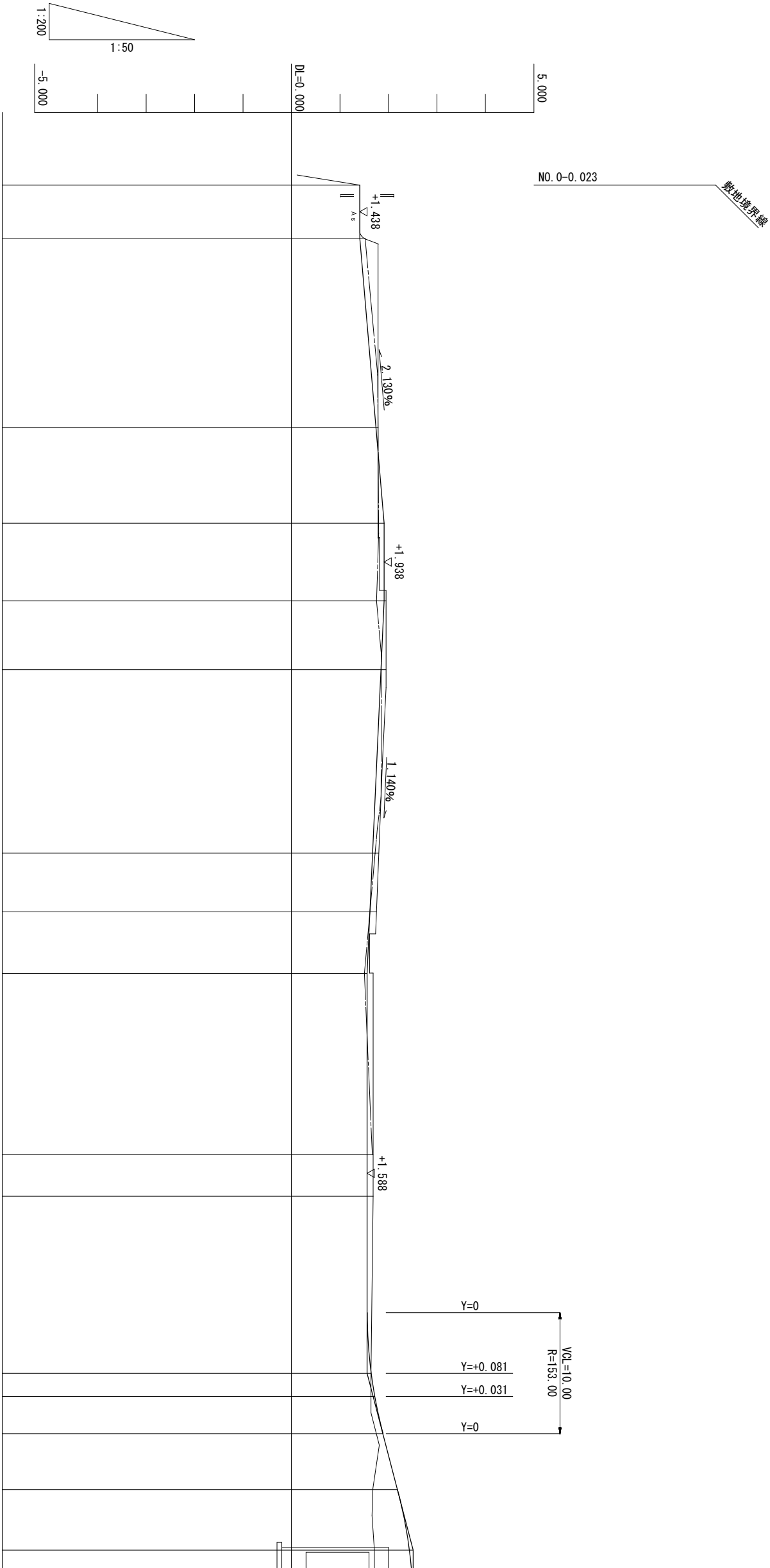
事業名	平成30年度浸水対策下水道事業		
工事名	新南五味塚ポンプ場場内整備工事		
工事場所	四日市市楠町南五味塚地内		
名称	外構整備平面図		
縮尺	1/200	設計年月日	平成 年 月 日
工種		設計者	
事業主体	四日市市 上下水道局	図面番号	J-1

記 号	工 種	数 量
VS	自由勾配側溝 (300×300)	231.7 m
VS	自由勾配側溝 (300×500)	16.7 m
VS	自由勾配側溝 (300×700)	8.8 m
VS	自由勾配側溝 (300×800)	6.0 m
VS	自由勾配側溝 (300×900)	8.0 m
VS	自由勾配側溝 (300×1000)	39.9 m
VO	横断用水路 (○300)	4.5 m
V	ヒューム管 (○300)	0.9 m
UM	雨水樹 (500×500)	5箇所
	L形側溝 (緑石A種 150×200)	11.7 m
As	アスファルト舗装	908.8 m2
As	すべり止め舗装	198.0 m2



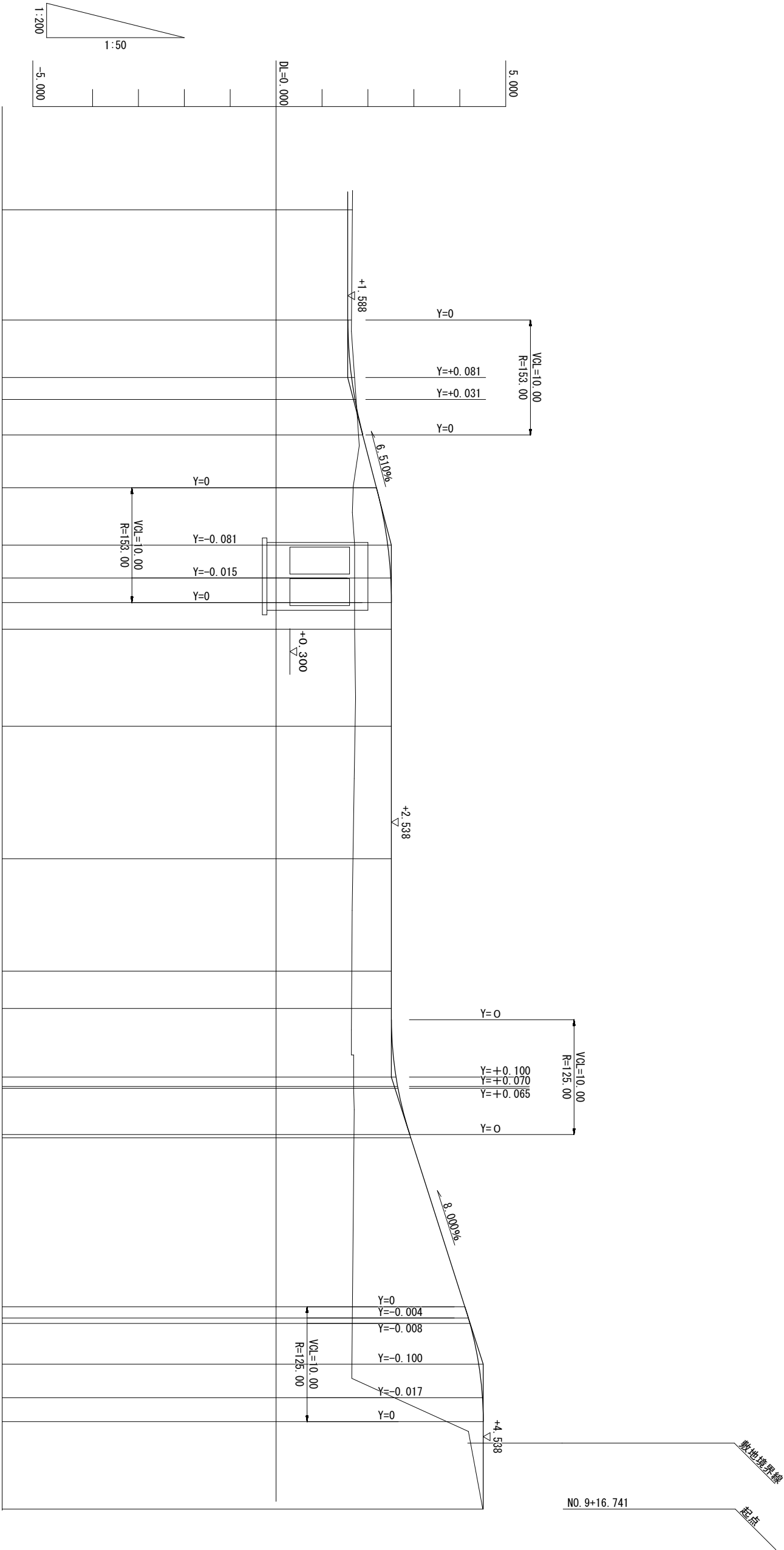
事業名	平成30年度浸水対策下水道事業			
工事名	新南五味塚ポンプ場場内整備工事			
工事場所	四日市市楠町南五味塚地内			
名称	市道平面図			
縮尺	1/200	設計年月日	平成	年 月 日
工種	設計者			
事業主体	四日市市 上下水道局	図面番号	J-2	

凡例	
——	計画高
——	地盤高
-----	西側地盤高



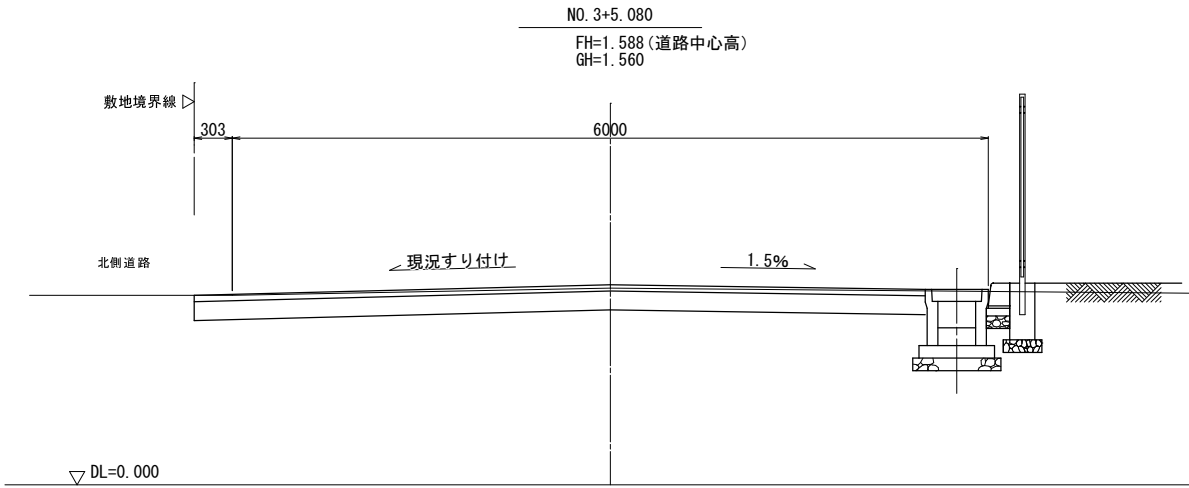
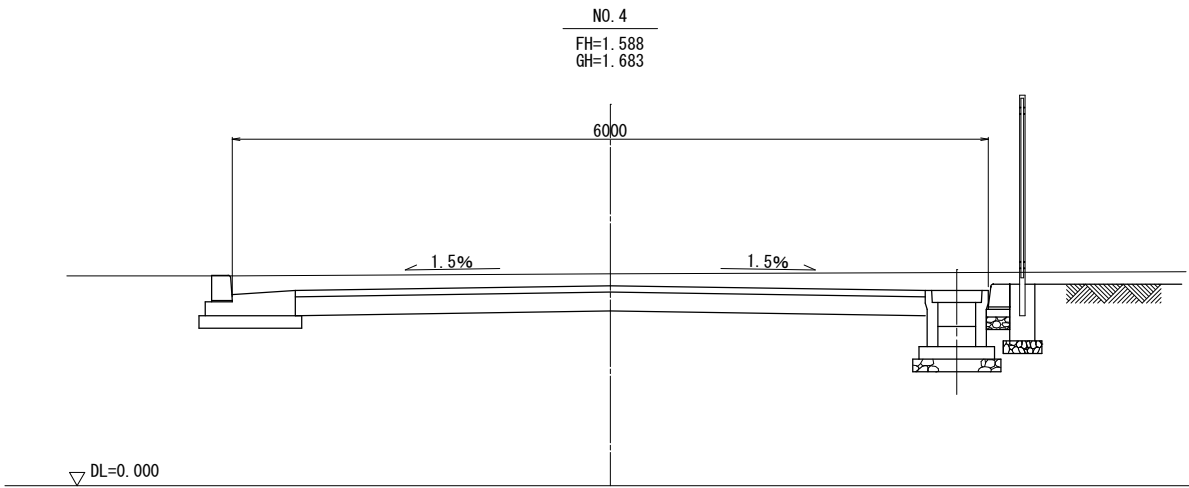
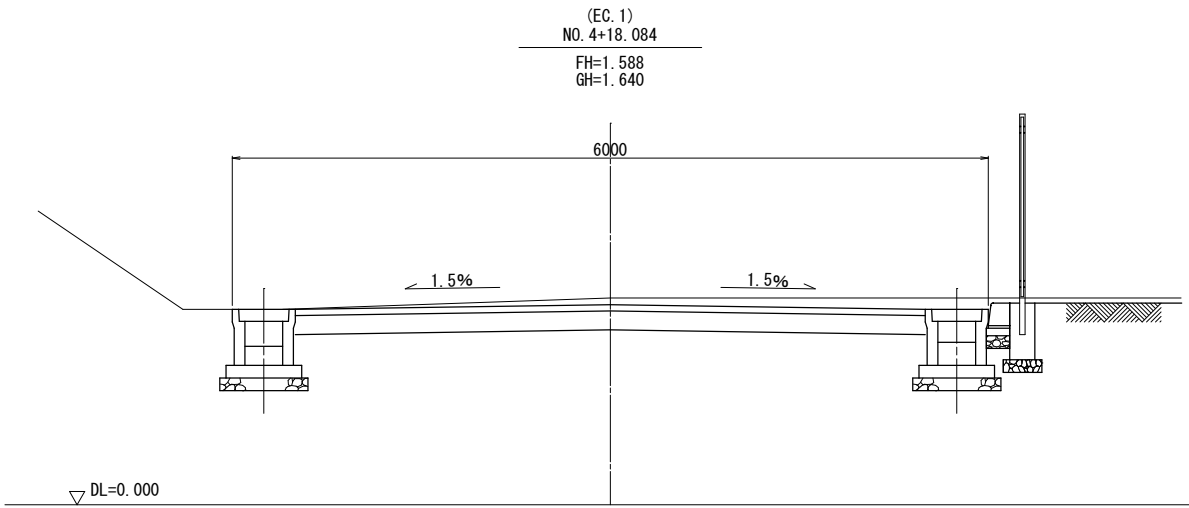
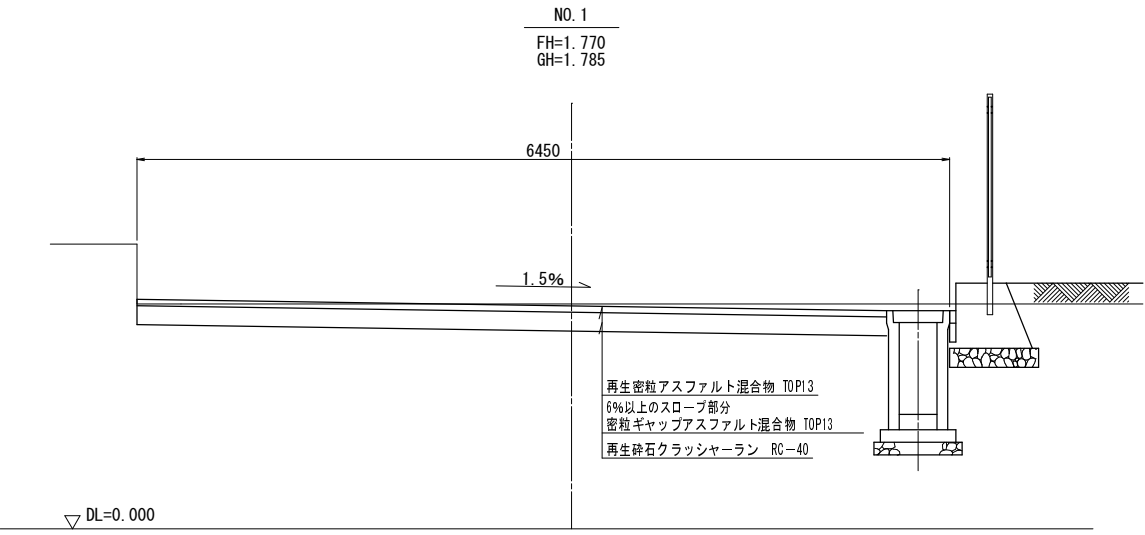
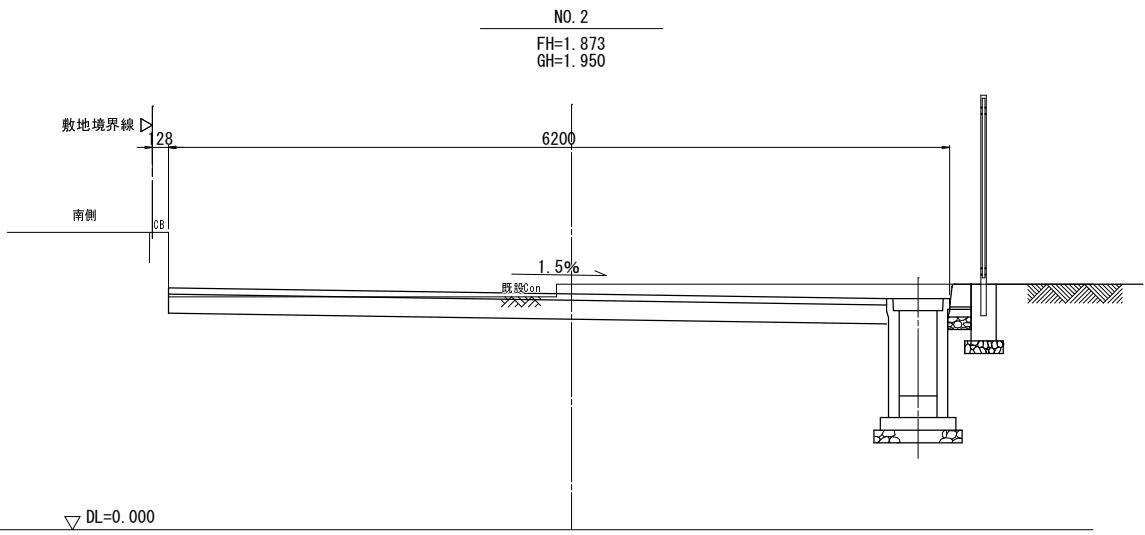
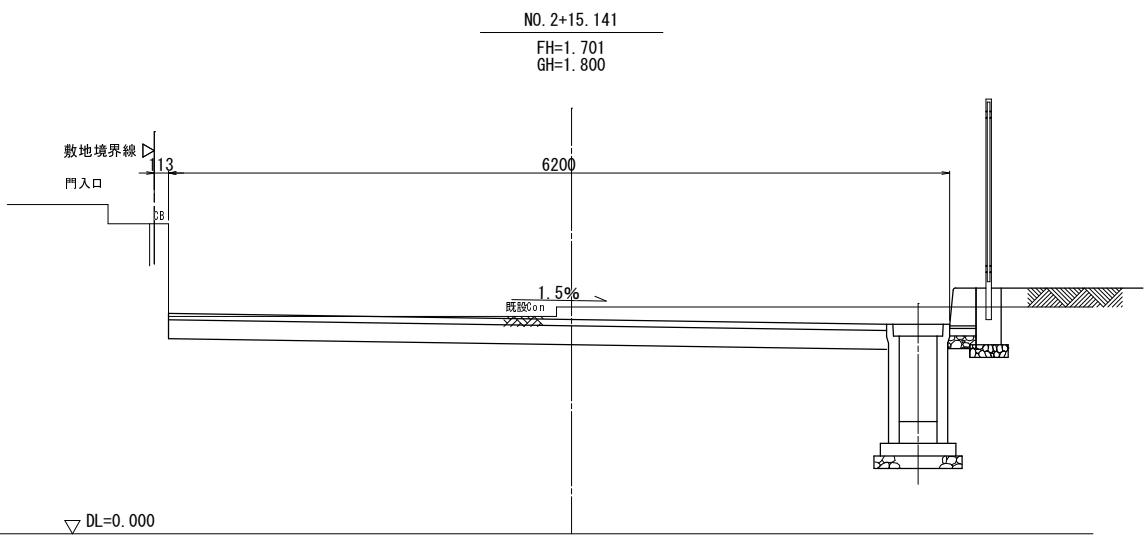
本線勾配	1.438	$i=2.130\%$ $L=23.520$	1.938 Level $L=6.400$	1.938	$i=1.140\%$ $L=30.770$	1.588	Level $L=33.004$	1.588	$i=6.510\%$ $L=14.600$	2.538
計画高	1.438		1.938	1.938		1.588	1.588		2.213	2.457
地盤高	1.400		1.785			1.560	1.683			1.710
西側地盤高	1.518		1.785			1.503	1.666			
追加距離	0	20.000	27.910		55.141	65.080	80.000		107.684	112.684
単距離	0	15.610	7.910	6.400	15.141	5.080	14.920		4.600	5.000
測点	NO.0 +4.390	NO.1 +7.910	+14.310	NO.2 +15.141	NO.3 +5.080	NO.4 +18.084	BC.1 +3.084	NO.5 +7.684	+12.684	
曲線	IP-1 IA=92.59-25 R=9.000 TL=9.482 CL=14.607 SL=4.073									

事業名	平成30年度浸水対策下水道事業		
工事名	新南五味塚ポンプ場場内整備工事		
工事場所	四日市市楠町南五味塚地内		
名称	市道縦断面図(1)		
縮尺	V=1/50 H=1/200	設計年月日	平成 年 月 日
工種		設計者	
事業主体	四日市市 上下水道局	図面番号	J-3

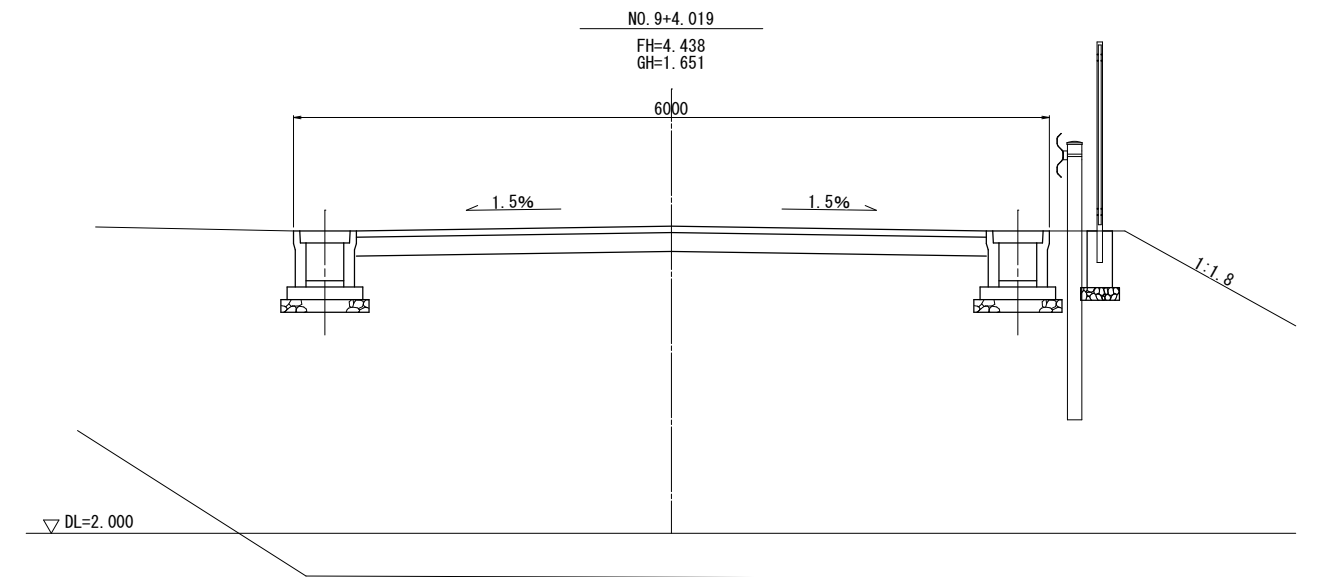
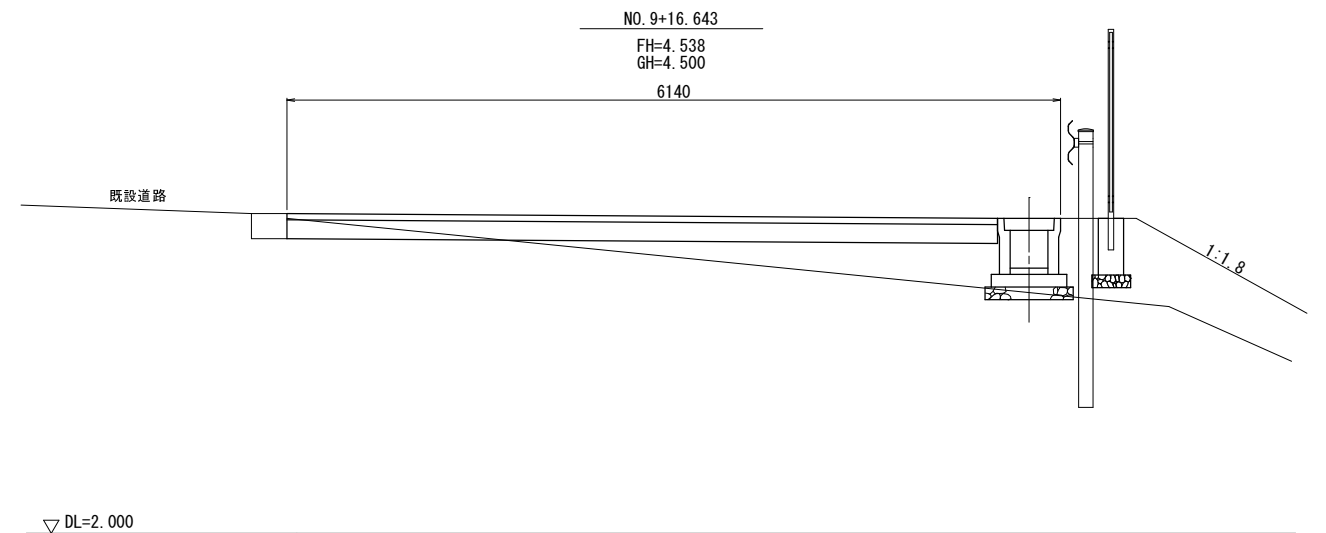
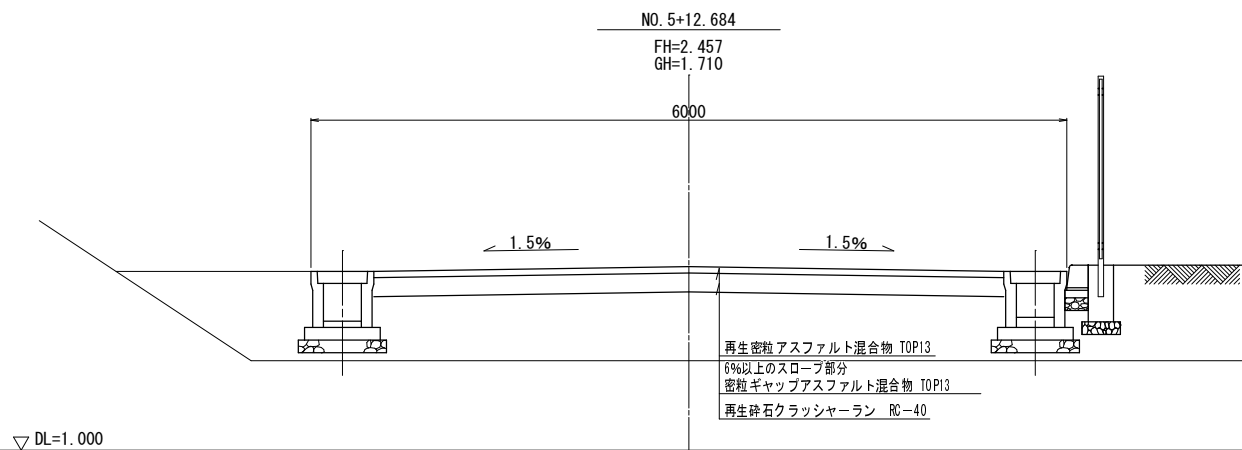
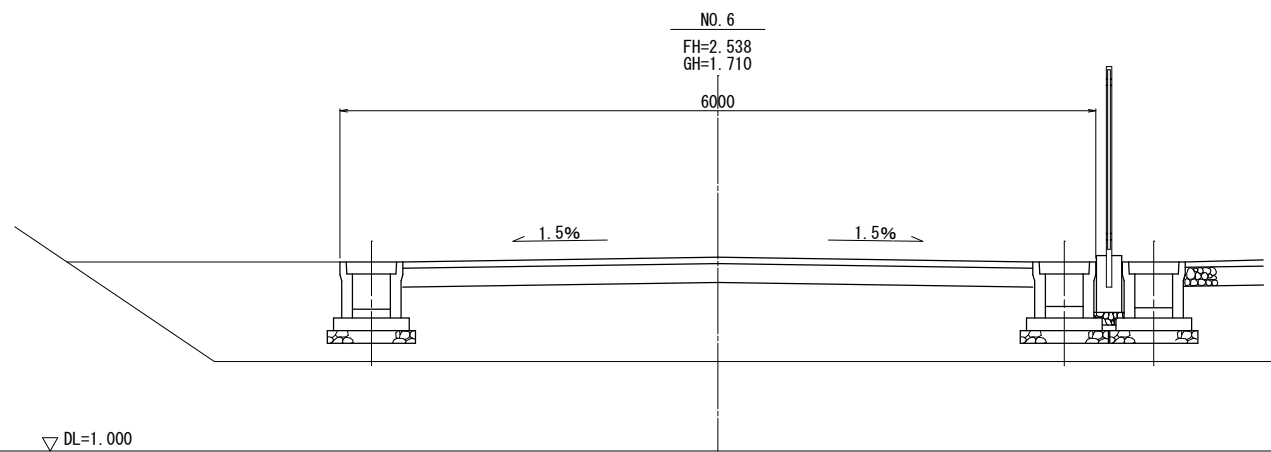
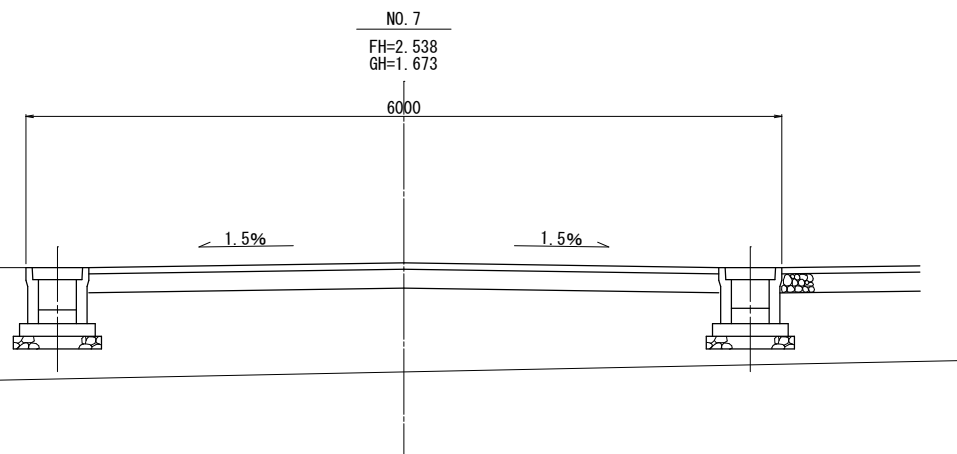
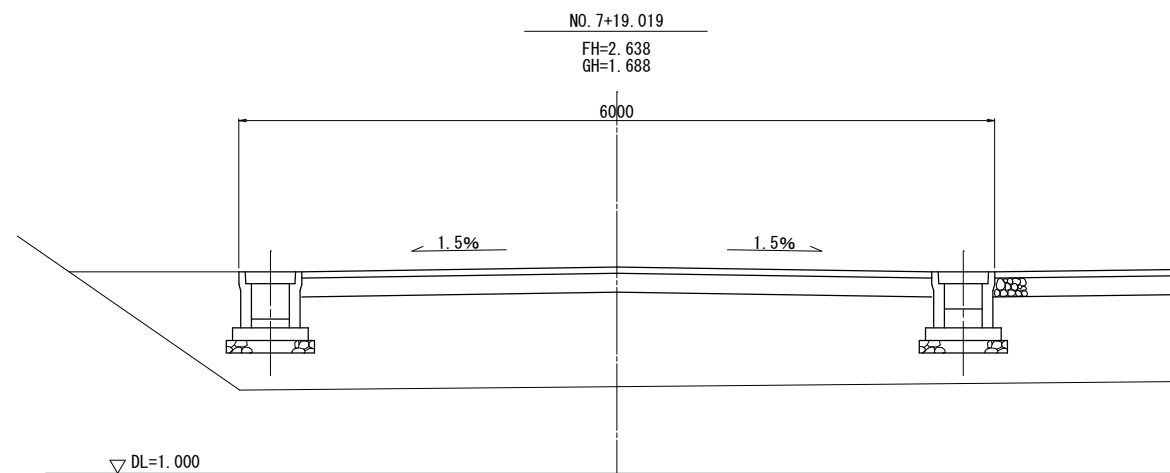


本線勾配	Level L=33.004										1.588	Level L=46.335										2.538	Level L=12.624										4.538																																																																																																						
	L=14.600 i=6.510%																						L=25.000% i=8.000%																																																																																																																
計画高	1.588										2.538	1.669										1.744	1.913										2.213	2.457										2.523	2.538	2.538										2.538	2.538										2.538	2.638										2.674	2.681	2.938										2.961	4.138										4.212	4.246	4.438										4.521	4.538	4.538																				
地盤高	1.683											1.640										1.640											1.710	1.710											1.673											1.688										1.688	1.660											1.651											4.500																																														
追加距離	83.477										93.084	98.084										100.000	103.084										107.684	112.684										115.543	117.684	120.000										128.456	140.000										149.791	153.042										154.019	159.019										159.842	160.000	164.019										164.312	179.019										180.000	180.467	184.019										186.936	189.019	196.643									
単距離	3.477										9.607	5.000										1.916	3.084										4.600	5.000										2.859	2.141	2.316										8.456	11.544										9.791	3.251										0.977	5.000										0.823	0.158	4.019										0.293	14.707										0.981	0.467	3.552										2.917	2.083	7.624									
測点	BC. 1										+13.084	EC. 1 +18.084										NO. 5	+3.084										+7.684	+12.684										IP. 2 (+15.543)	+17.684	NO. 6										IP. 3 (+8.456)	NO. 7										IP. 4 (+9.791)	IP. 5 +13.042 +14.019	+19.019										IP. 6 (+19.842)	+4.019	IP. 7 (+4.312)										+19.019	NO. 9 IP. 8 (+0.467)	+4.019										IP. 9 (+6.936)	+9.019	+16.643																														
曲線	IP-1 IA=92.59-25 R=9.000 TL=9.482 CL=14.607 SL=4.073										IP-2 IA=18.34-58										IP-3 IA=8.46-54										IP-4 IA=29.49-10 IA=9.5-47										IP-5 IA=9.10-13 IA=7.42-34										IP-6 IA=52.13-4										IP-7 IA=4.14-17										IP-8 IA=52.13-4										IP-9																																																						

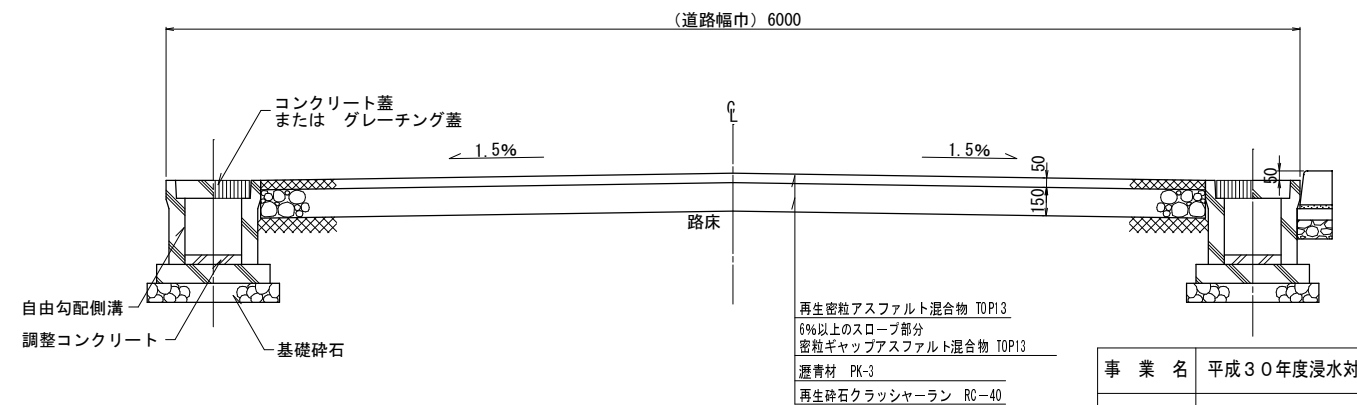
事業名	平成30年度浸水対策下水道事業			
工事名	新南五味塚ポンプ場内整備工事			
工事場所	四日市市楠町南五味塚地内			
名称	市道縦断面図(2)			
縮尺	V=1/50 H=1/200	設計年月日	平成	年 月 日
工種	四日市市	設計者		
事業主体	上下水道局	図面番号	J-4	



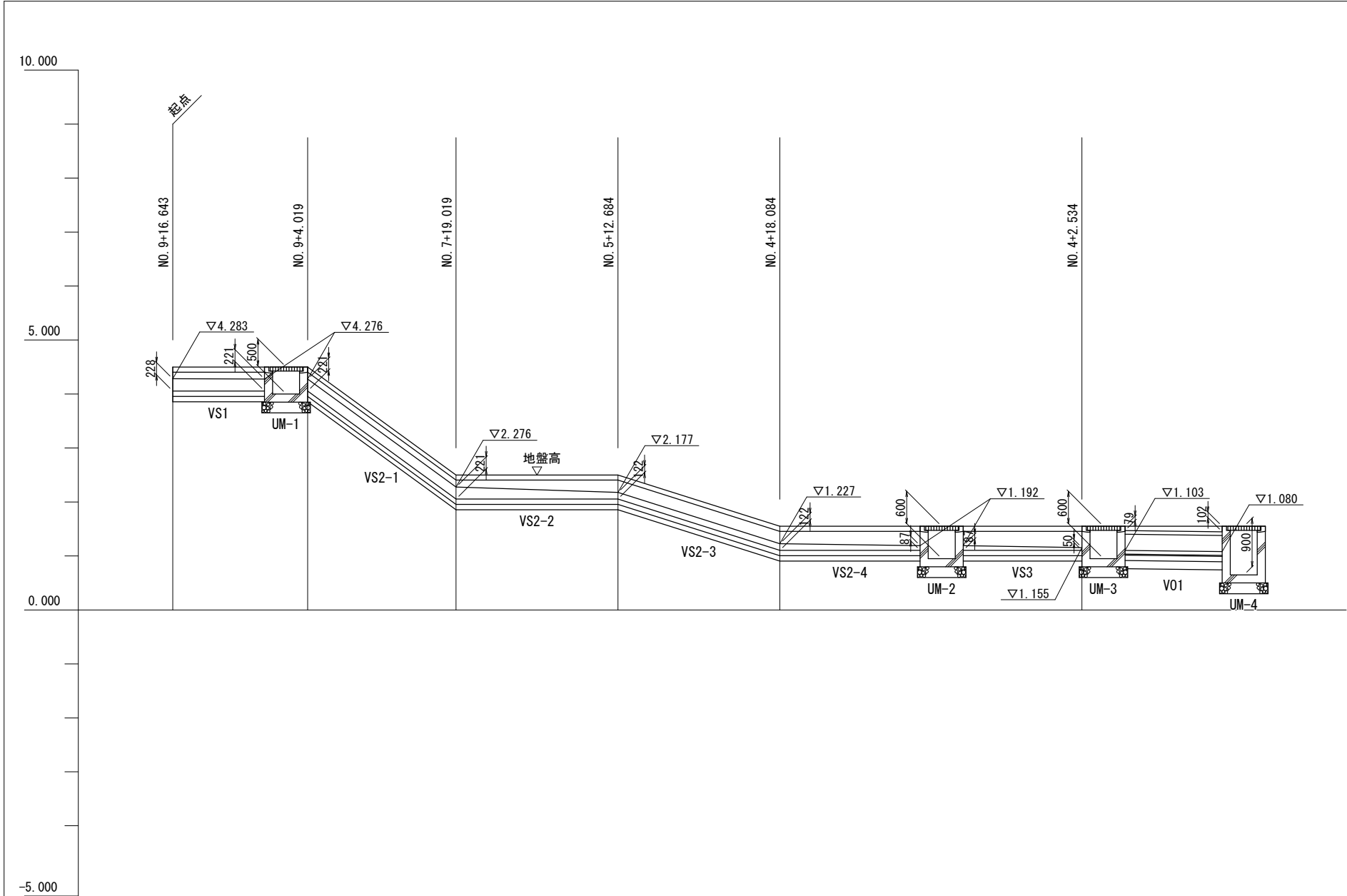
事業名	平成30年度浸水対策下水道事業			
工事名	新南五味塚ポンプ場場内整備工事			
工事場所	四日市市楠町南五味塚地内			
名称	市道横断面図(1)			
縮尺	1/30	設計年月日	平成	年 月 日
工種		設計者		
事業主体	四日市市 上下水道局	図面番号	J-5	



標準断面図

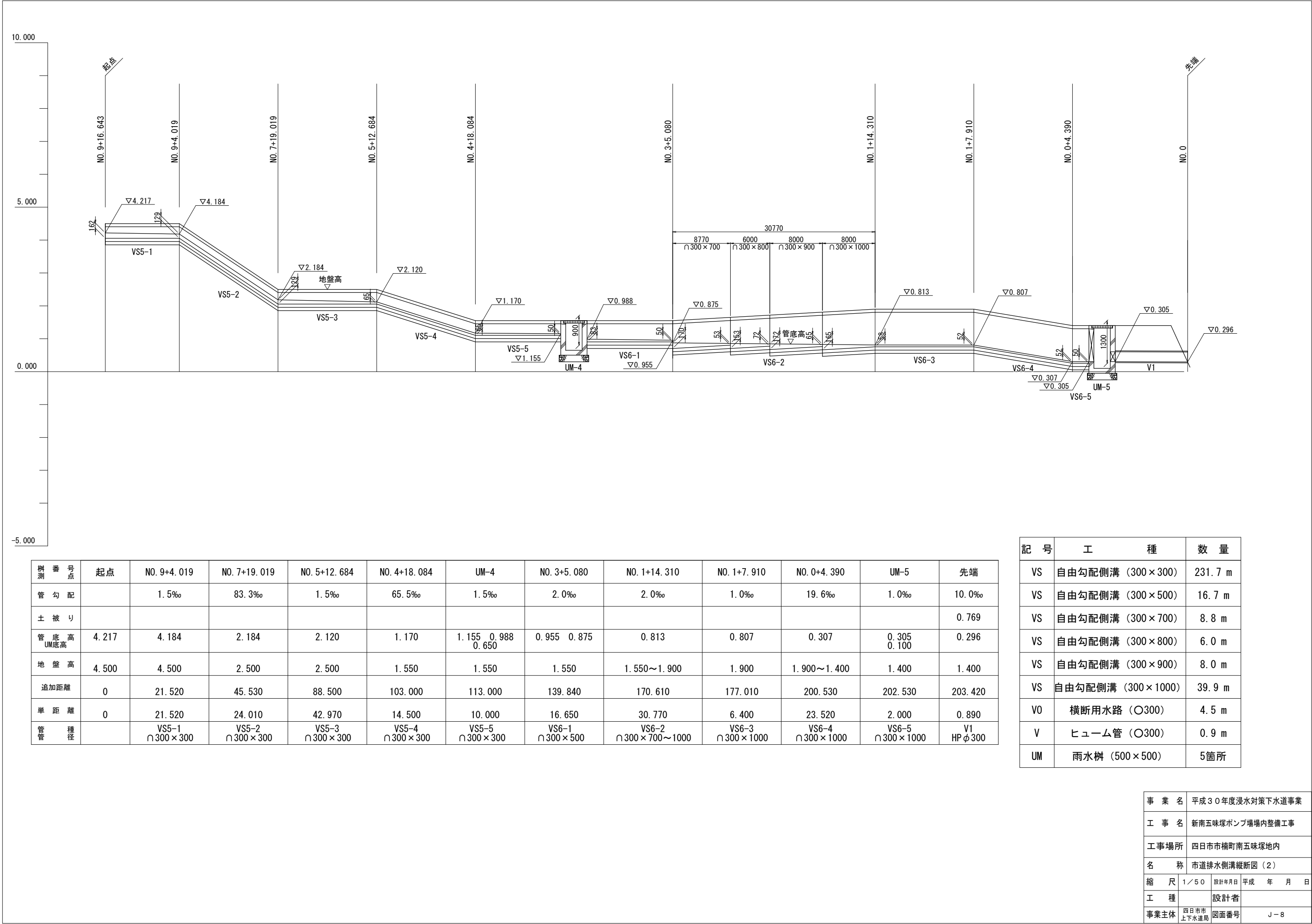


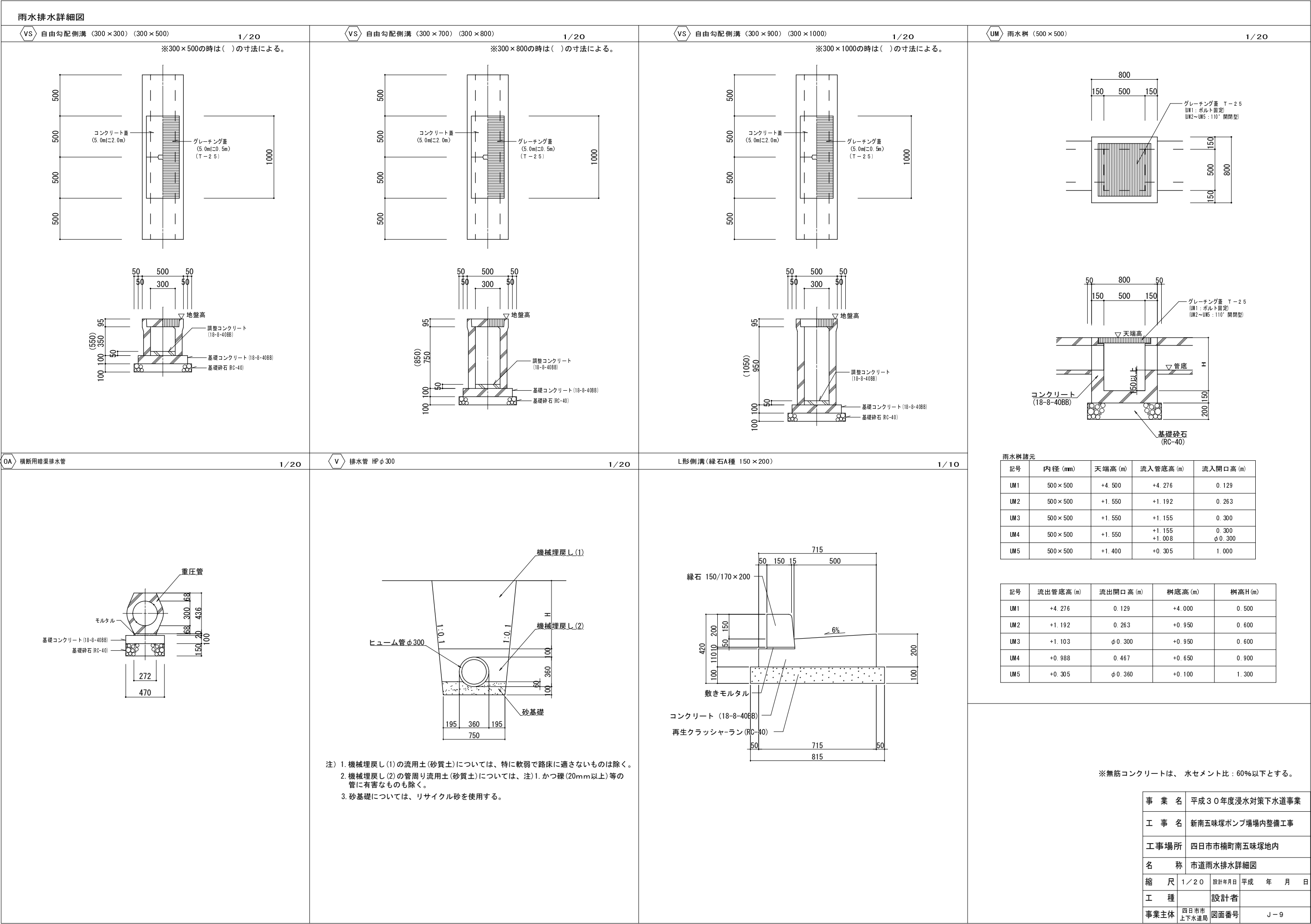
事業名	平成30年度浸水対策下水道事業
工事名	新南五味塚ポンプ場内整備工事
工事場所	四日市市楠町南五味塚地内
名称	市道横断面図(2)
縮尺	1/30
設計年月日	平成 年 月 日
工種	設計者
事業主体	四日市市 上下水道局
図面番号	J-6

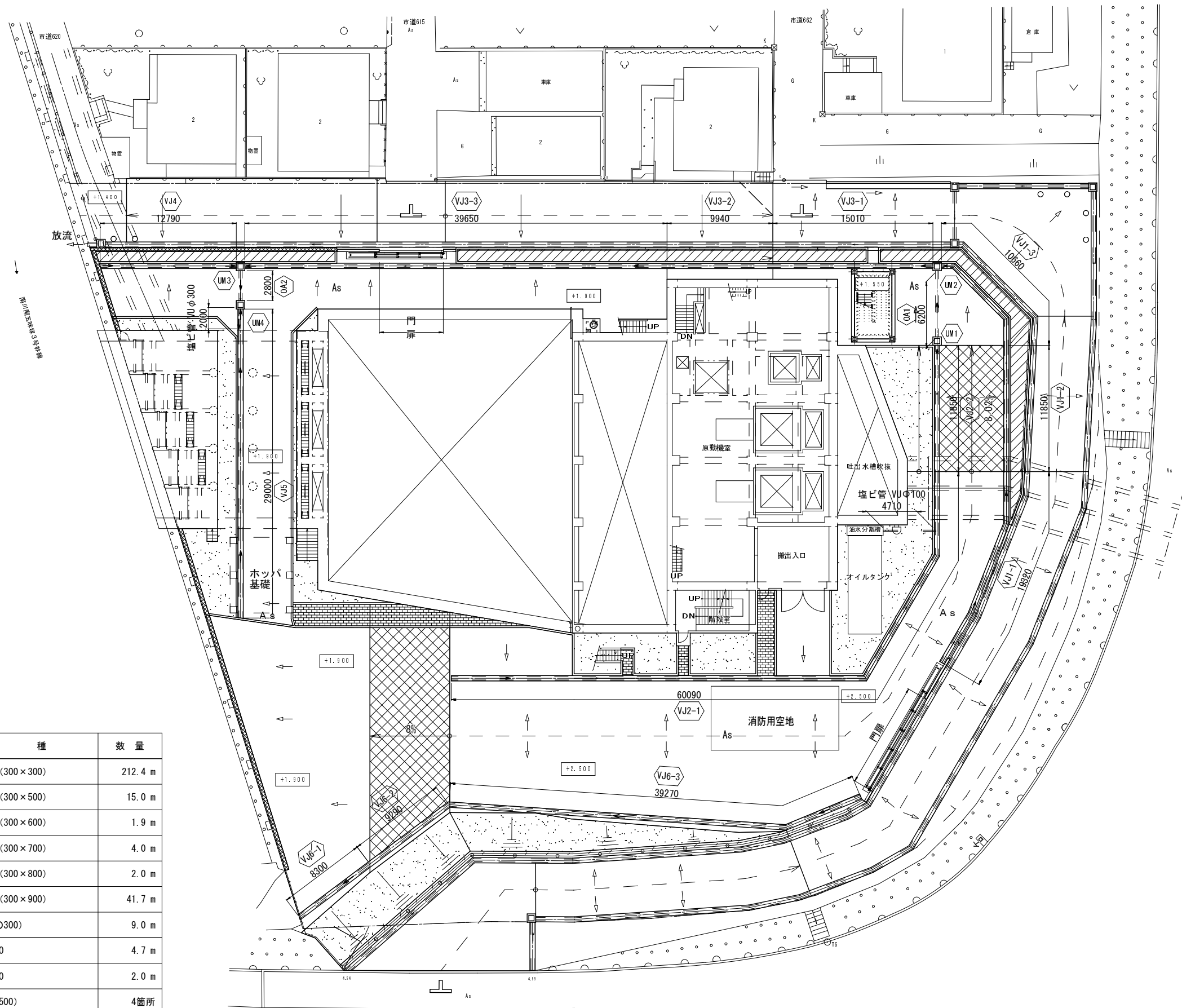


樹 測 番 号 点	起点	UM-1	NO. 7+19. 019	NO. 5+12. 684	NO. 4+18. 084	UM-2	UM-3	UM-4
管 勾 配		1. 5‰	77. 0‰	2‰	65. 1‰	3‰	3‰	5‰
土 被 り								0. 079 0. 102
管 底 高 UM底高	4. 283	4. 276 4. 000	2. 276	2. 177	1. 227	1. 192 0. 950	1. 155 1. 103 0. 950	1. 080 0. 650
地 盤 高	4. 500	4. 500	2. 500	2. 500	1. 550	1. 550	1. 550	1. 550
追加距離	0	4. 510	30. 500	80. 200	94. 800	106. 520	118. 690	123. 190
単 距 離	0	4. 510	25. 990	49. 700	14. 600	11. 720	12. 170	4. 500
管 種 径		VS1 φ300×300	VS2-1 φ300×300	VS2-2 φ300×300	VS2-3 φ300×300	VS2-4 φ300×300	VS3 φ300×300	V01 横断用水路φ300

事 業 名	平成30年度浸水対策下水道事業		
工 事 名	新南五味塚ポンプ場場内整備工事		
工事場所	四日市市楠町南五味塚地内		
名 称	市道排水側溝縦断面（1）		
縮 尺	1／50	設計年月日	平成 年 月 日
工 種		設計者	
事業主体	四日市市 上下水道局	図面番号	J-7

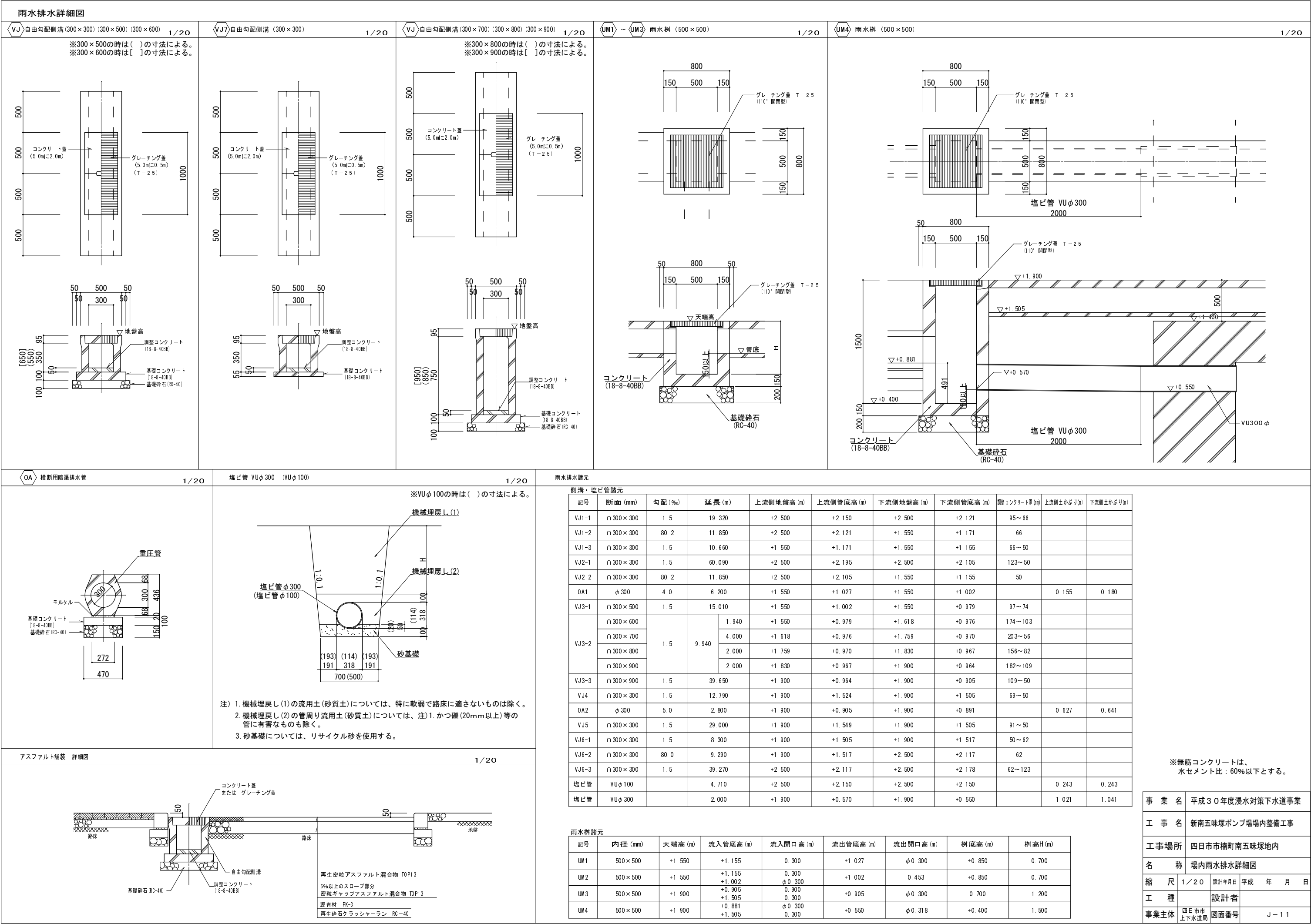


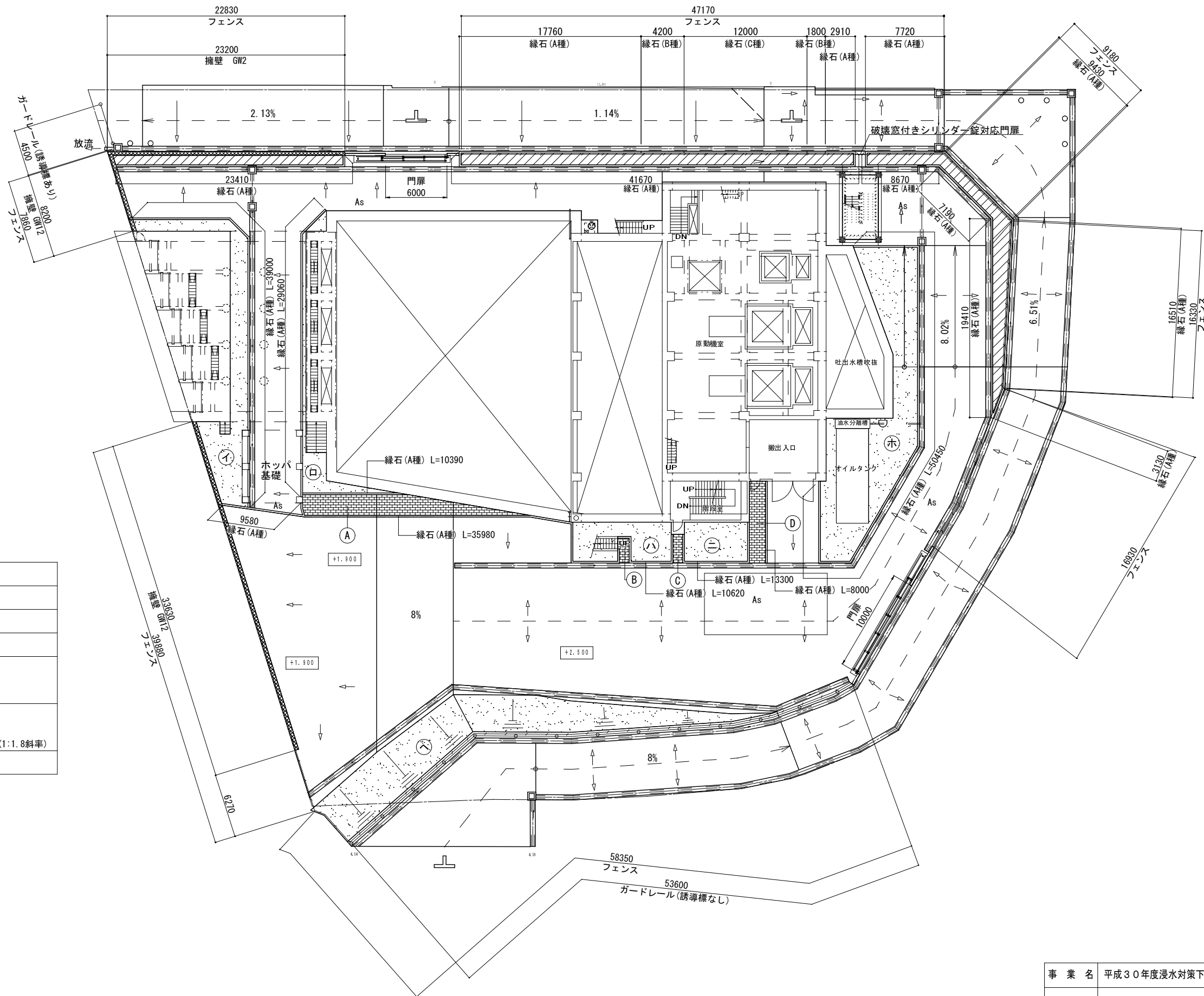
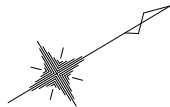




記 号	工 種	数 量
VJ	自由勾配側溝 (300×300)	212.4 m
VJ	自由勾配側溝 (300×500)	15.0 m
VJ	自由勾配側溝 (300×600)	1.9 m
VJ	自由勾配側溝 (300×700)	4.0 m
VJ	自由勾配側溝 (300×800)	2.0 m
VJ	自由勾配側溝 (300×900)	41.7 m
OA	横断用水路 (○300)	9.0 m
	塩ビ管 VUφ100	4.7 m
	塩ビ管 VUφ300	2.0 m
UM	雨水樹 (500×500)	4箇所
As	アスファルト舗装	1396.0 m2
As	すべり止め舗装	214.0 m2

事業名	平成30年度浸水対策下水道事業			
工事名	新南五味塚ポンプ場場内整備工事			
工事場所	四日市市楠町南五味塚地内			
名称	場内雨水排水平面図			
縮尺	1/200	設計年月日	平成 年 月 日	
工種		設計者		
事業主体	四日市市 上下水道局	図面番号	J-10	

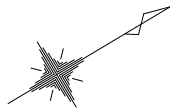




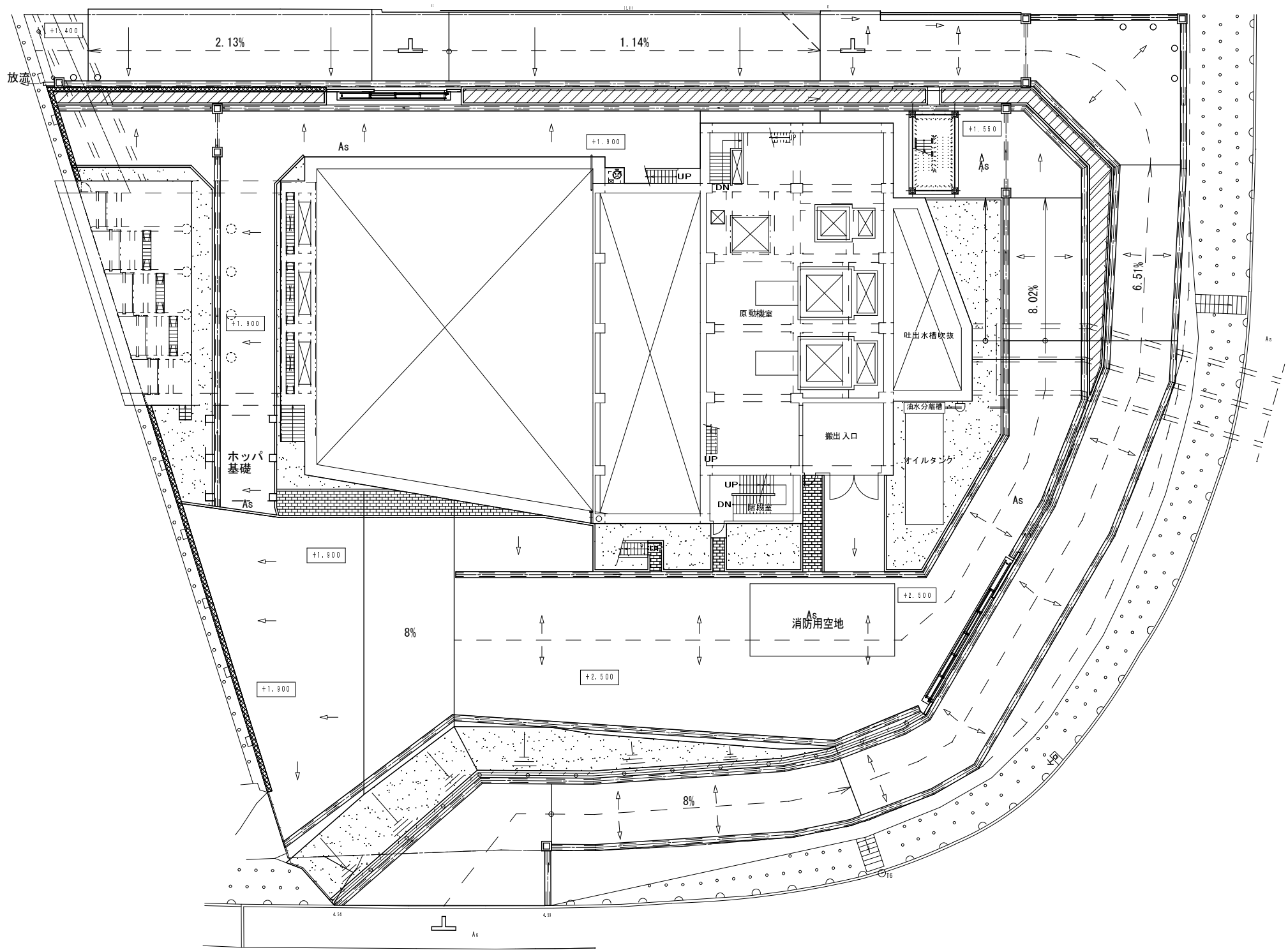
凡例

	フェンス H=1500 L=218.53m
	ガードレール L=53.60m(誘導標なし)、L=4.50m(誘導標あり)
	デリネーター ×6カ所
	縁石 L=382.20m(A種 364.2m、B種 6.0m、C種 12.0m)
	インターロッキング 50.700m ² (A)=32.7 m ² (B) =2.5 m ² (C) =2.7 m ² (D)=12.8 m ²
	砕石敷き 433.4 m ² 43.3 m ³ ① =68.7 m ² ② =22.6 m ² ③ =33.6 m ² ④ =23.6 m ² ⑤ =119.3 m ² ⑥ =165.6 m ² =144.6m ² ×1.145(1:1.8斜率)
	擁壁 L=65.030 m (GW2 23.200m GW12 41.830m)

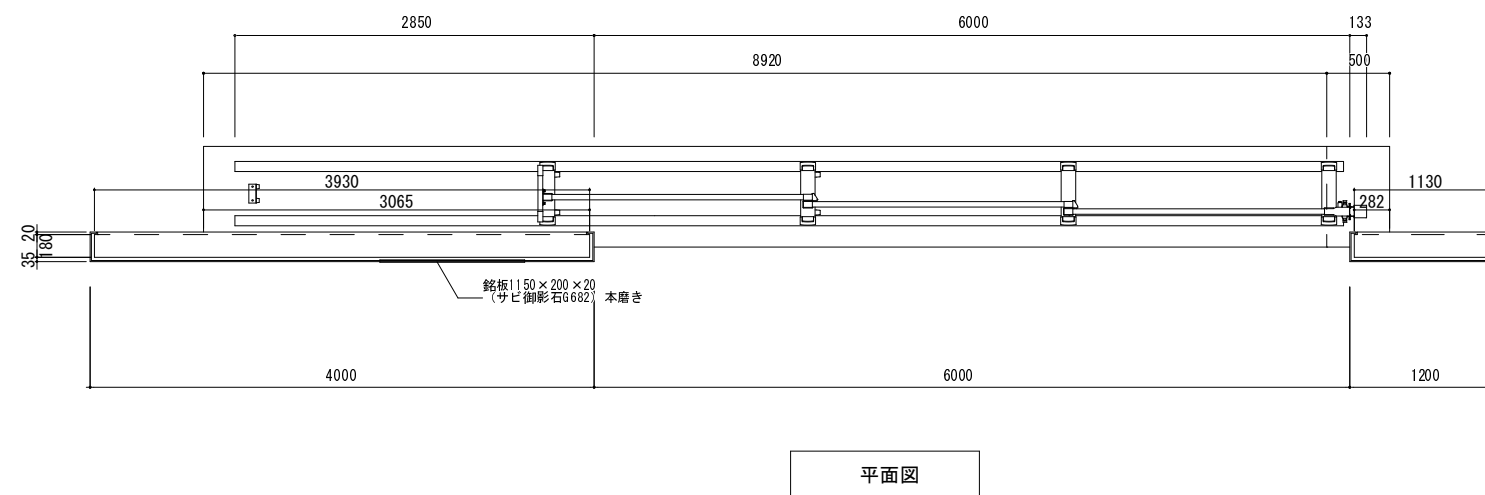
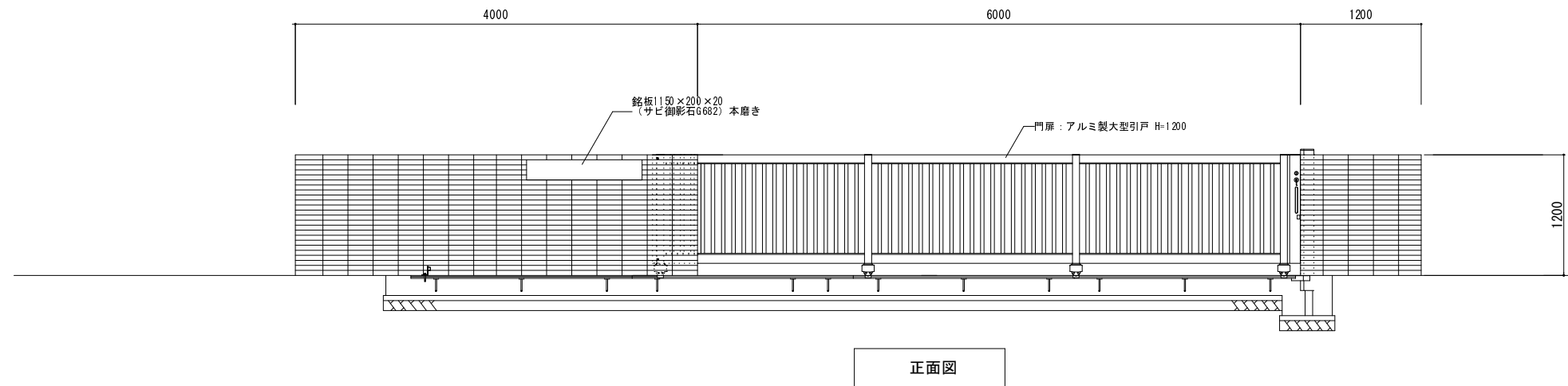
事業名	平成30年度浸水対策下水道事業		
工事名	新南五味塚ポンプ場場内整備工事		
工事場所	四日市市楠町南五味塚地内		
名称	場内整備図		
縮尺	1/200	設計年月日	平成 年 月 日
工種		設計者	
事業主体	四日市市 上下水道局	図面番号	J-12



植栽	
	白クローバー(種子) 108.5m2, 0.01kg/m2

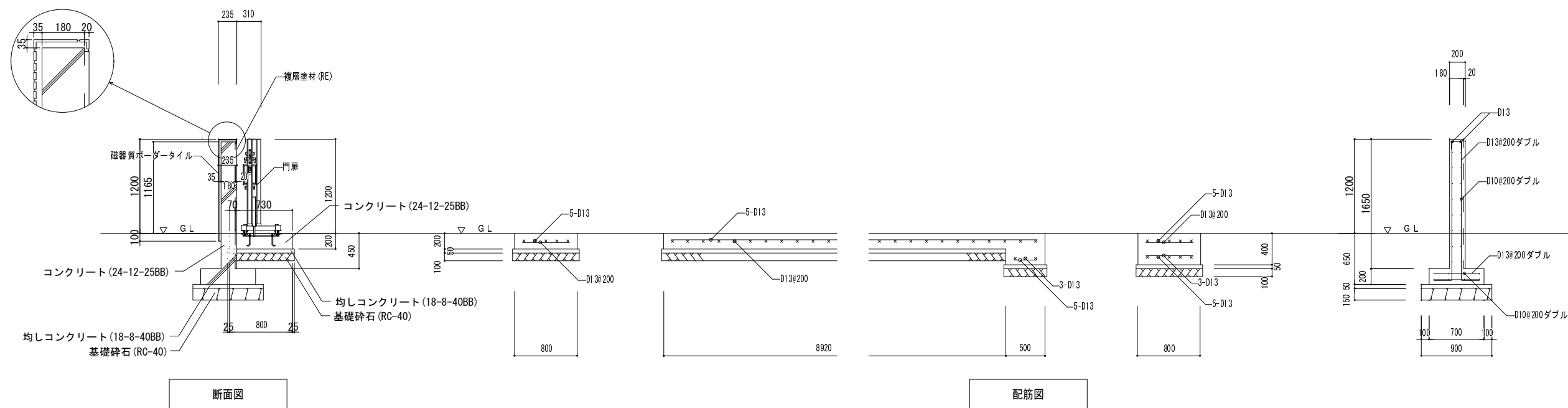


事業名	平成30年度浸水対策下水道事業		
工事名	新南五味塚ポンプ場場内整備工事		
工事場所	四日市市楠町南五味塚地内		
名称	場内整備(植栽)		
縮尺	1/200	設計年月日	平成 年 月 日
工種		設計者	
事業主体	四日市市 上下水道局	図面番号	J-13



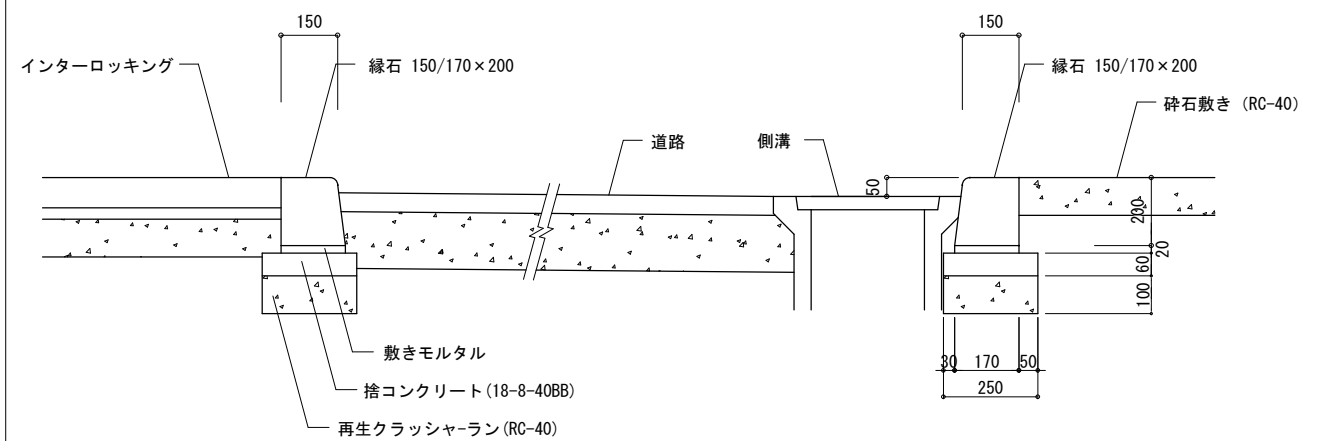
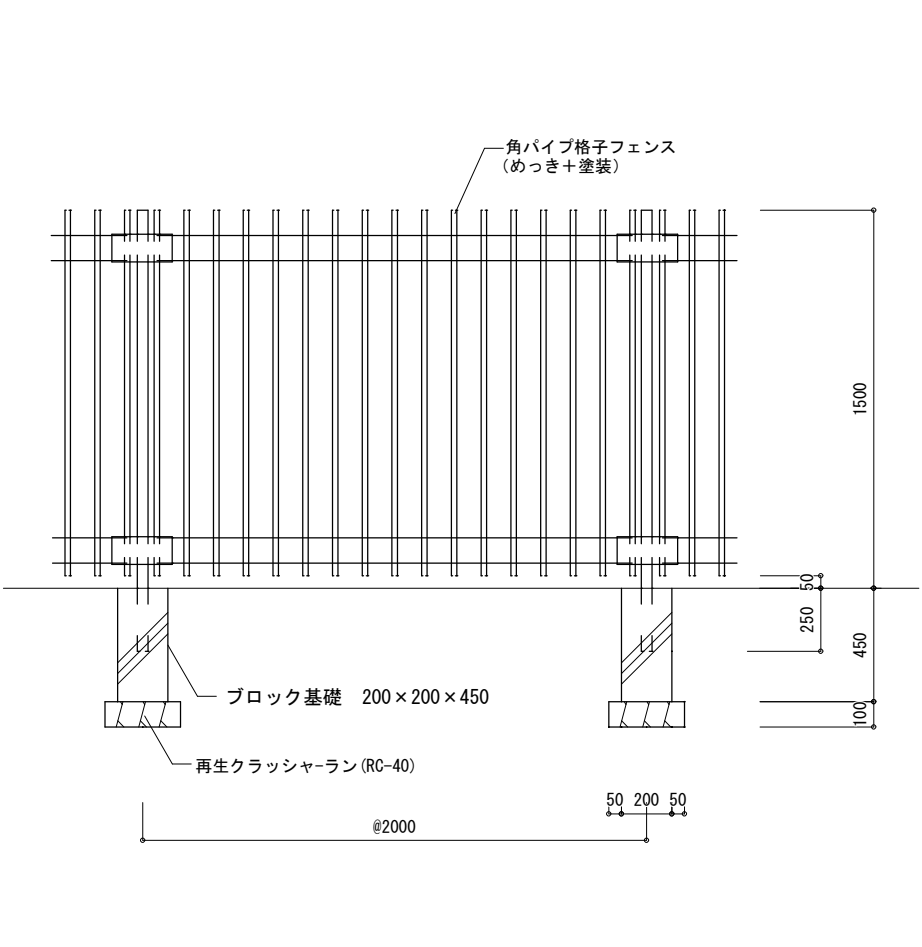
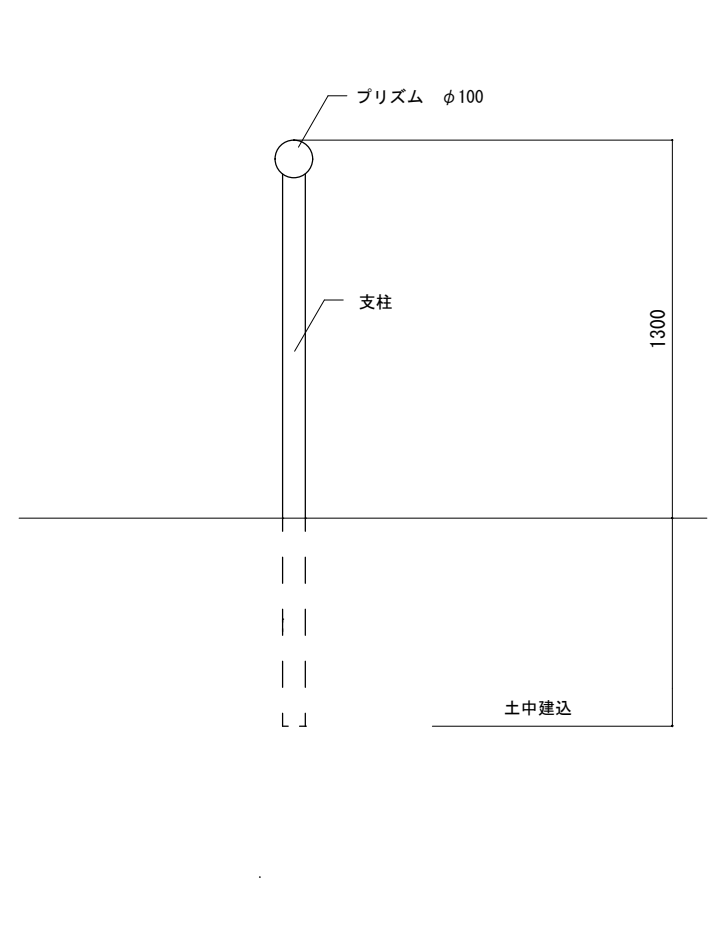
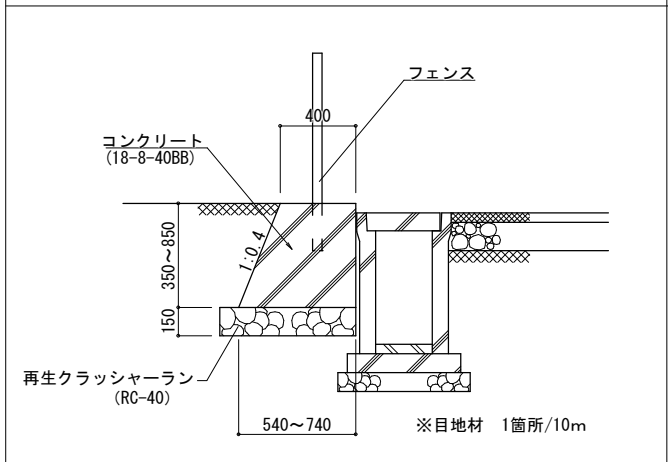
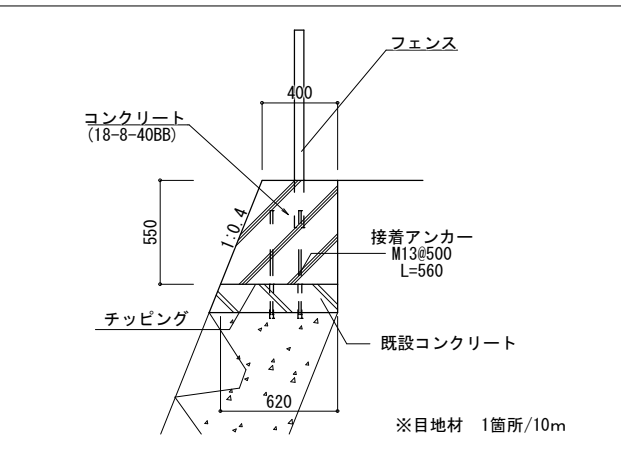
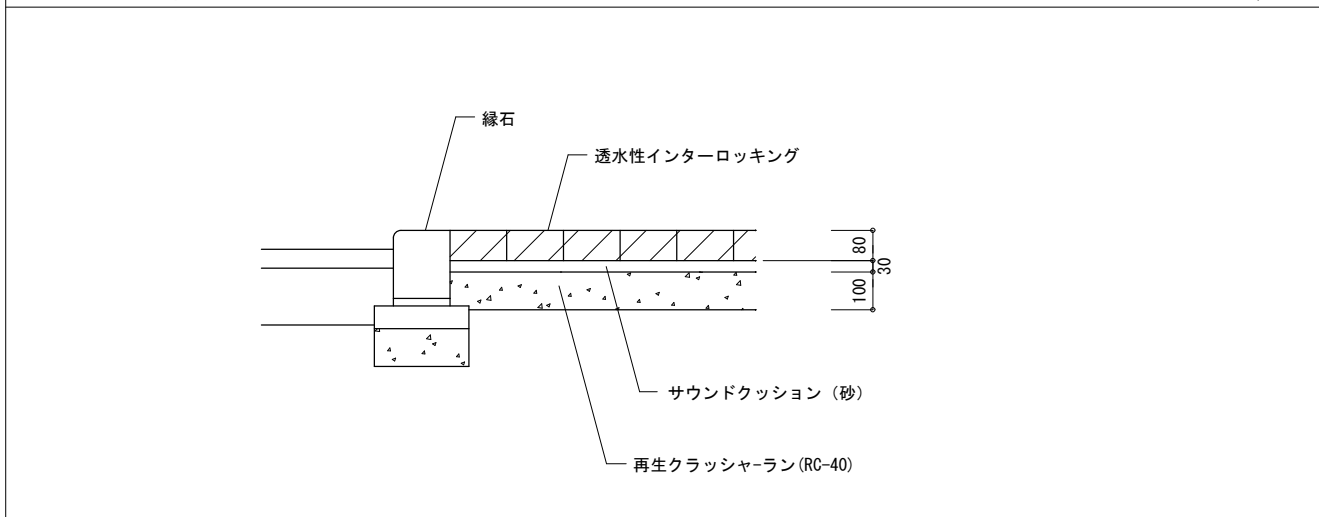
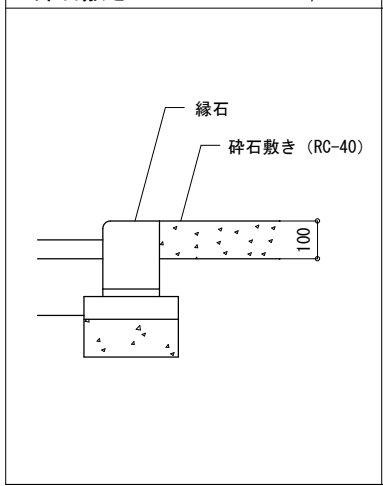
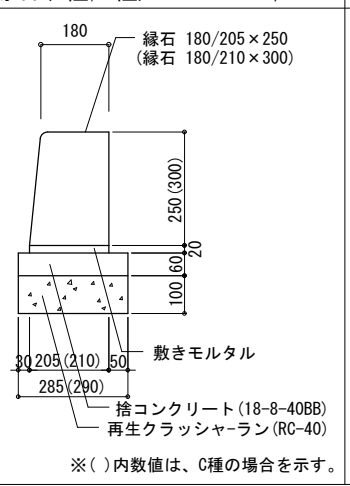
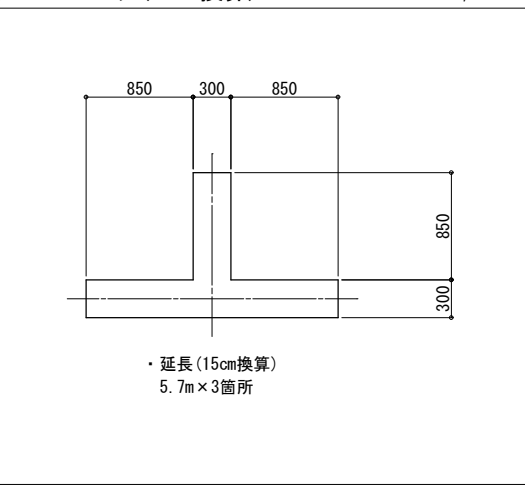
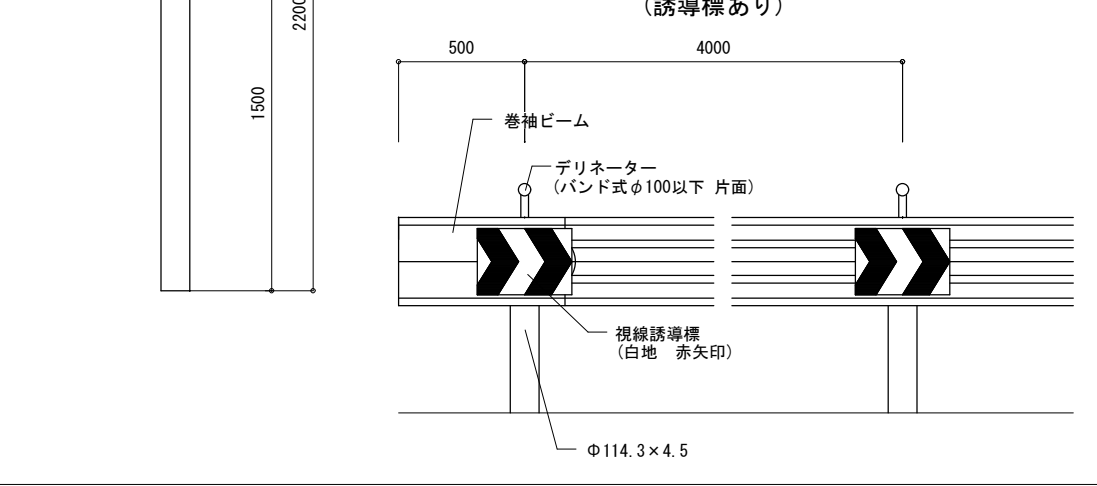
注記

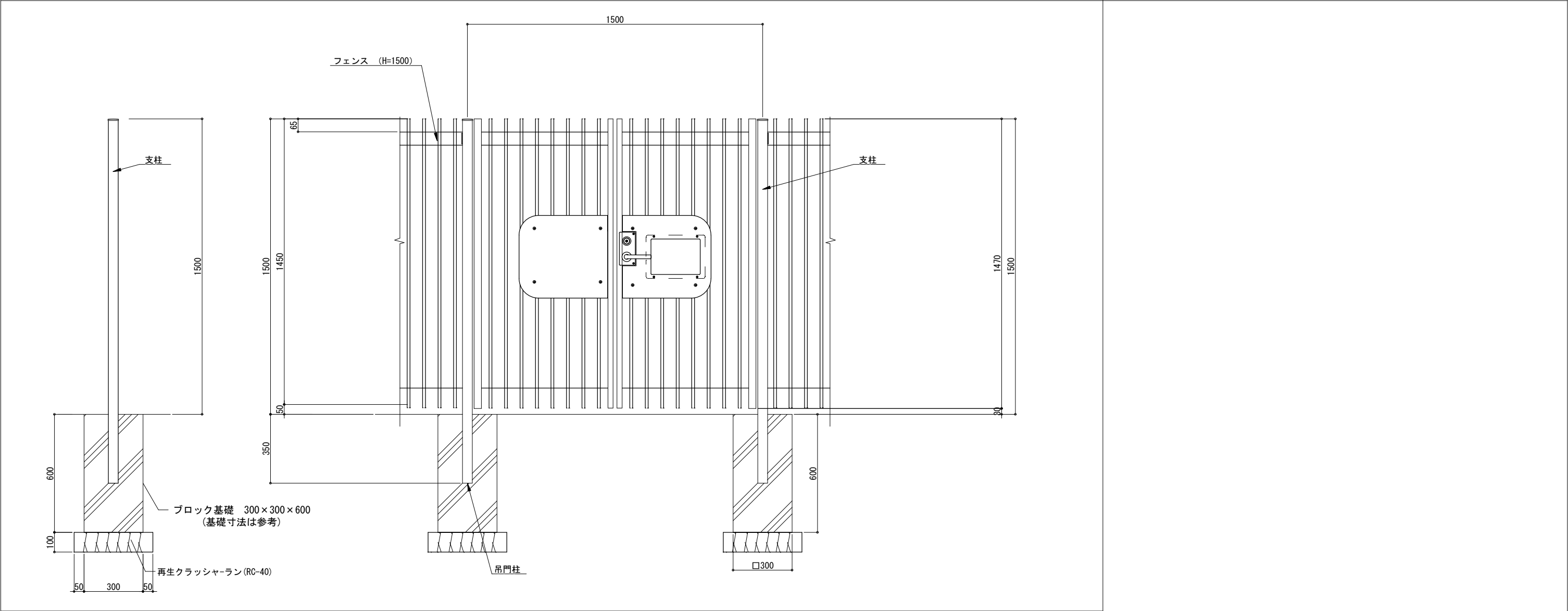
門扉	アルミ製大型引戸 H=1200 四国化成 スタックラインA1型同等以上
銘板	名称・字体等については、監督員と協議の上承認を得る事



※鉄筋コンクリートは、水セメント比：55%以下とする。
※無筋コンクリートは、水セメント比：60%以下とする。

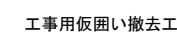
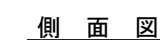
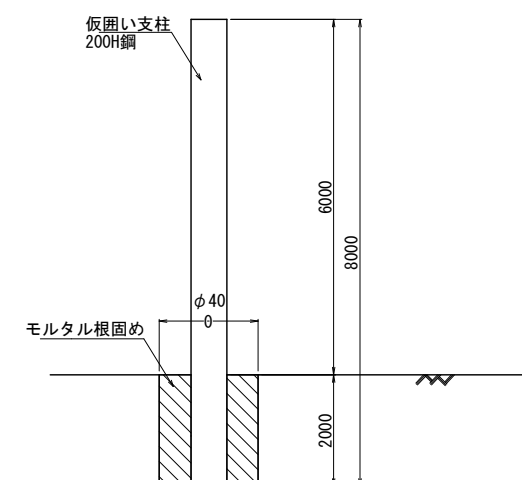
事業名	平成30年度浸水対策下水道事業				
工事名	新南五味塚ポンプ場場内整備工事				
工事場所	四日市市楠町南五味塚地内				
名称	門扉詳細図(2)				
縮尺	1/30	設計年月日	平成	年	月 日
工種		設計者			
事業主体	四日市市 上下水道局	図面番号	J-15		

縁石 (A種)		1/10		フェンス (H=1500) (朝日スチール PW-A1500同等以上)		1/15		デリネーター		1/10																															
																																									
擁壁 GW2		1/20		擁壁 GW12		1/20																																			
																																									
透水性インターロッキング				1/10																																					
																																									
砕石敷き				1/10		縁石 (B種, C種)		1/10		クロスマーク (15cm換算)		1/30																													
										※無筋コンクリートは、水セメント比：60%以下とする。 <table><tr><td>事業名</td><td colspan="3">平成30年度浸水対策下水道事業</td></tr><tr><td>工事名</td><td colspan="3">新南五味塚ポンプ場場内整備工事</td></tr><tr><td>工事場所</td><td colspan="3">四日市市楠町南五味塚地内</td></tr><tr><td>名称</td><td colspan="3">部分詳細図(1)</td></tr><tr><td>縮尺</td><td>図示</td><td>設計年月日</td><td>平成 年 月 日</td></tr><tr><td>工種</td><td colspan="2">設計者</td><td></td></tr><tr><td>事業主体</td><td>四日市市上下水道局</td><td>図面番号</td><td>J-16</td></tr></table>		事業名	平成30年度浸水対策下水道事業			工事名	新南五味塚ポンプ場場内整備工事			工事場所	四日市市楠町南五味塚地内			名称	部分詳細図(1)			縮尺	図示	設計年月日	平成 年 月 日	工種	設計者			事業主体	四日市市上下水道局	図面番号	J-16		
事業名	平成30年度浸水対策下水道事業																																								
工事名	新南五味塚ポンプ場場内整備工事																																								
工事場所	四日市市楠町南五味塚地内																																								
名称	部分詳細図(1)																																								
縮尺	図示	設計年月日	平成 年 月 日																																						
工種	設計者																																								
事業主体	四日市市上下水道局	図面番号	J-16																																						



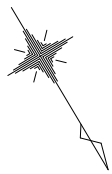
事業名	平成30年度浸水対策下水道事業				
工事名	新南五味塚ポンプ場場内整備工事				
工事場所	四日市市楠町南五味塚地内				
名称	部分詳細図(2)				
縮尺	図示	設計年月日	平成	年	月 日
工種	設計者				
事業主体	四日市市 上下水道局	図面番号	J-17		

正 面 图

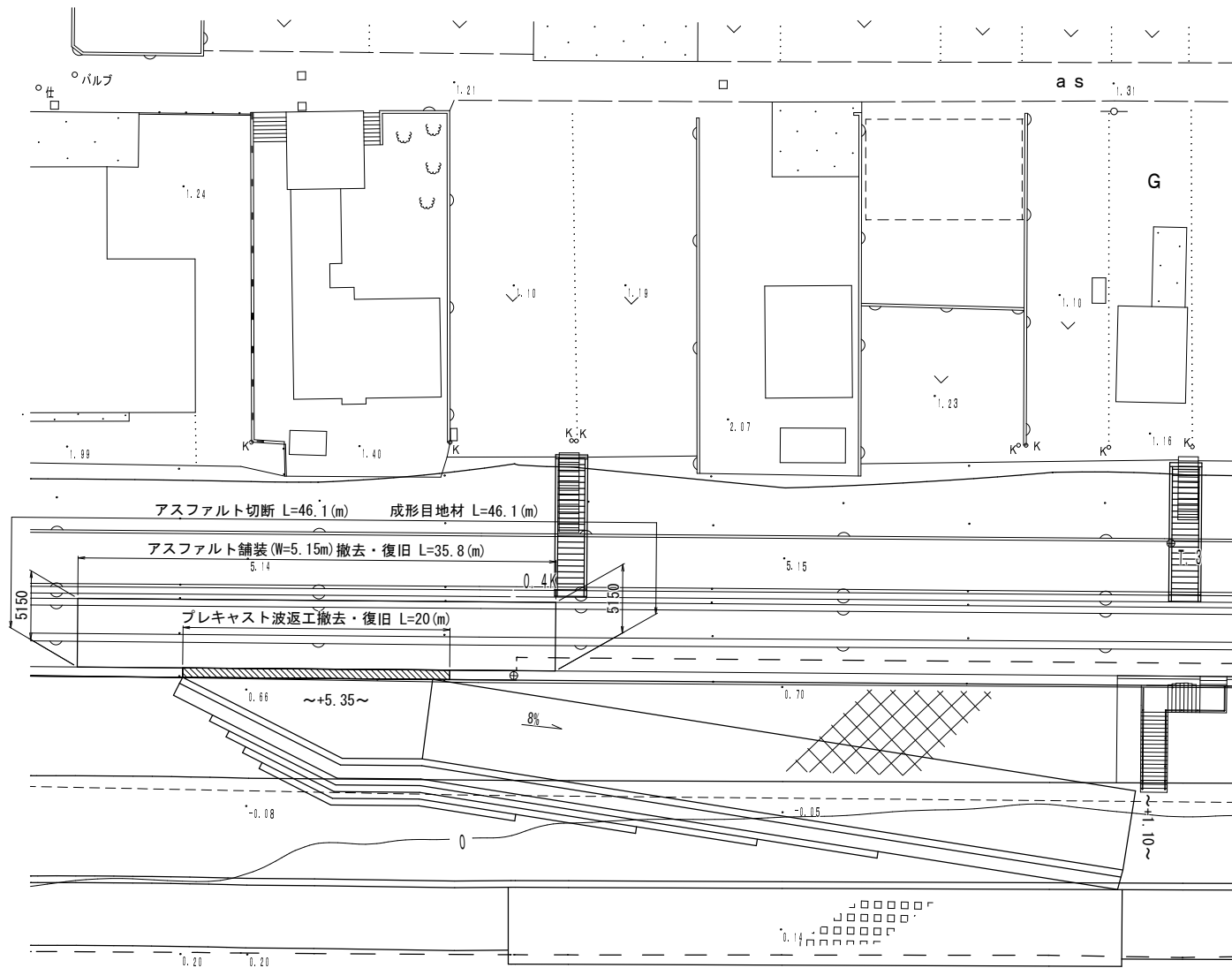

$$L = 30.00 + 59.50 = 89.50\text{m}$$
$$L = 30.00 + 59.50 = 89.50\text{m}$$


事業名	平成30年度浸水対策下水道事業		
工事名	新南五味塚ポンプ場場内整備工事		
工事場所	四日市市楠町南五味塚地内		
名称	工事用仮囲い・仮設進入路撤去図		
縮尺	図示	設計年月日	平成 年 月 日
工種		設計者	
事業主体	四日市市 上下水道局	図面番号	J-18

波返し工撤去・復旧図



位置図 S=1:250



No. 5+15

No. 6

No. 6+5.000

0.79

No. 6+15

No. 6+19.700

No. 7

No. 7+4.000

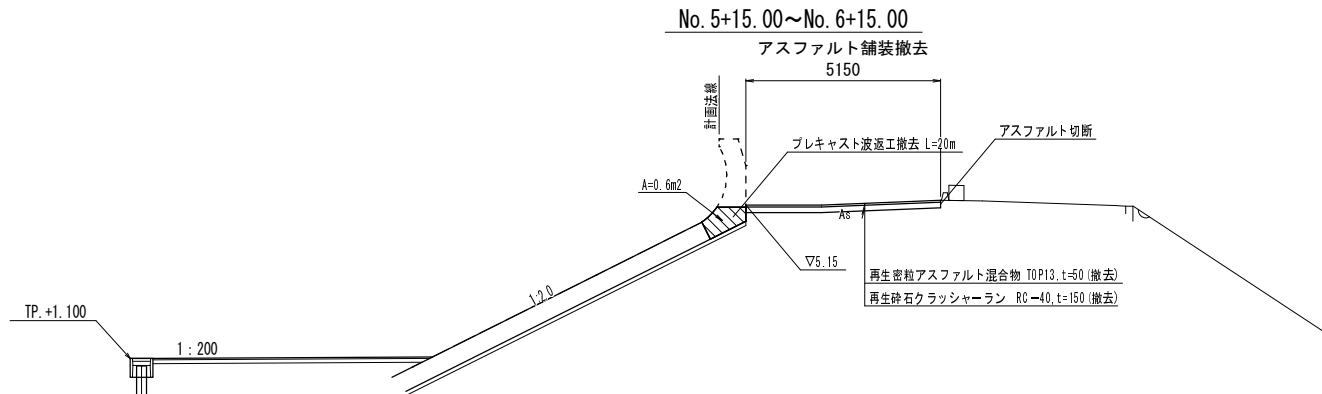
No. 8

No. 9

No. 9+5.500

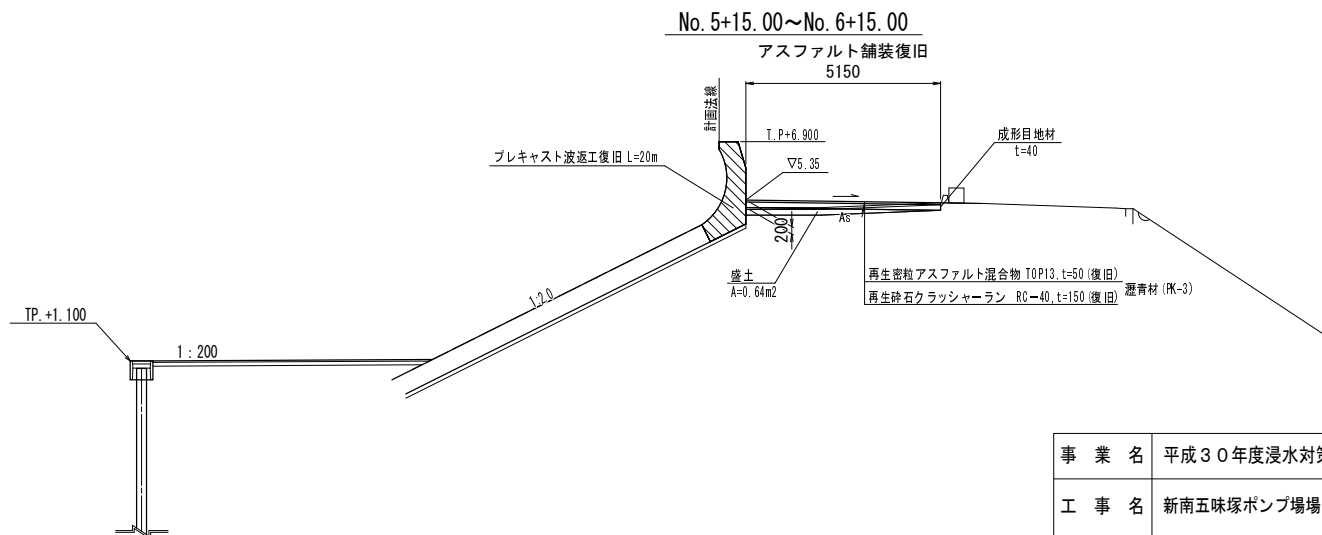
No. 9+10.000

撤去図 S=1:100



構造物撤去数量集計表						20.0m当り
名 称	細 別	規 格	単 位	数 量	摘 要	
構造物取壊し工	コンクリート構造物取壊し	鉄筋構造物	m3	12.0		
運搬処理工	搬運搬	コンクリート殻(鉄筋)	m3	12.0		
	殻処分	コンクリート殻(鉄筋)	m3	12.0		

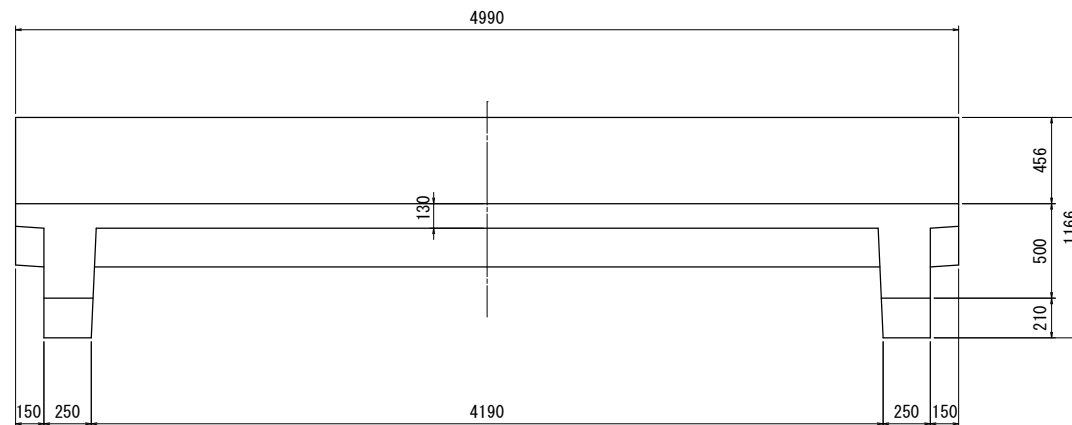
復旧図 S=1:100



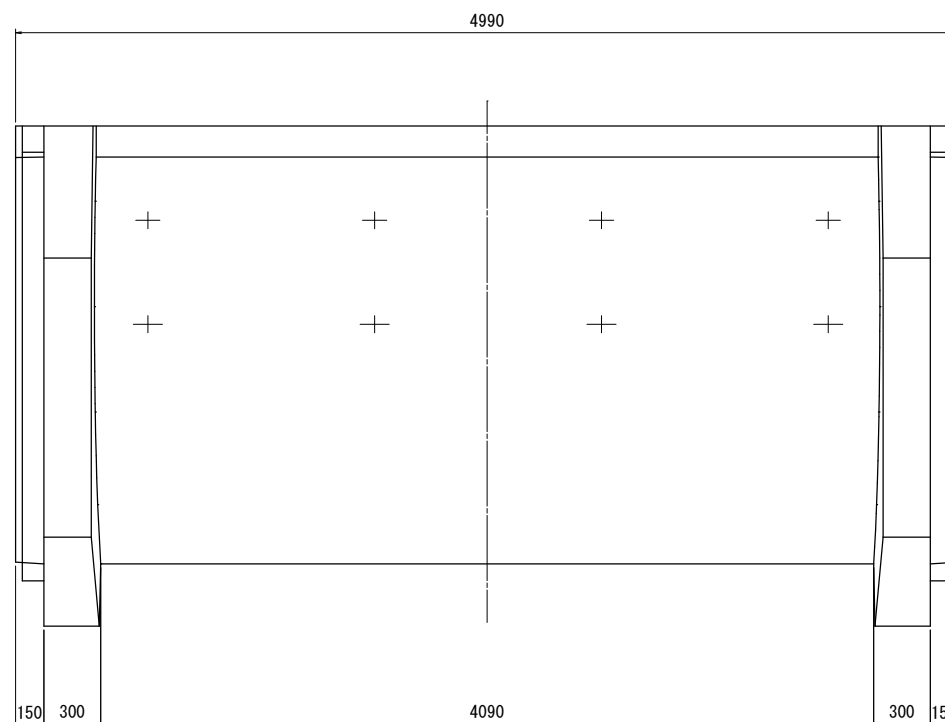
事業名	平成30年度浸水対策下水道事業				
工事名	新南五味塚ポンプ場場内整備工事				
工事場所	四日市市楠町南五味塚地内				
名称	波返し工撤去・復旧図				
縮尺	図示	設計年月日	平成	年	月 日
工種	設計者				
事業主体	四日市市 上下水道局	図面番号	K-1		

プレキャスト波返工図 S=1 : 20
(参考図)

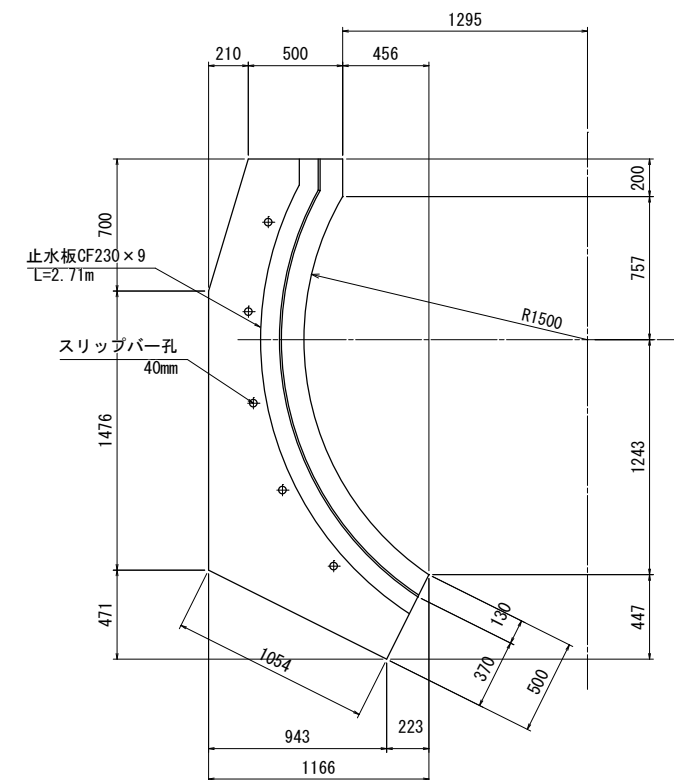
平面图



背面図



側面図



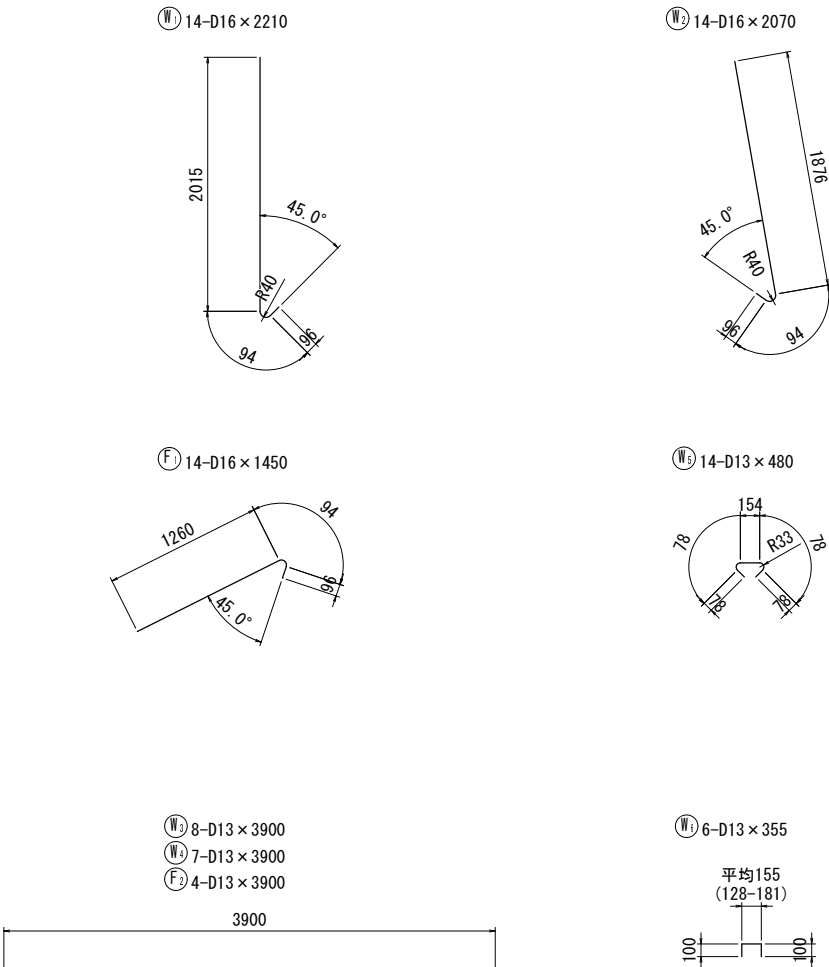
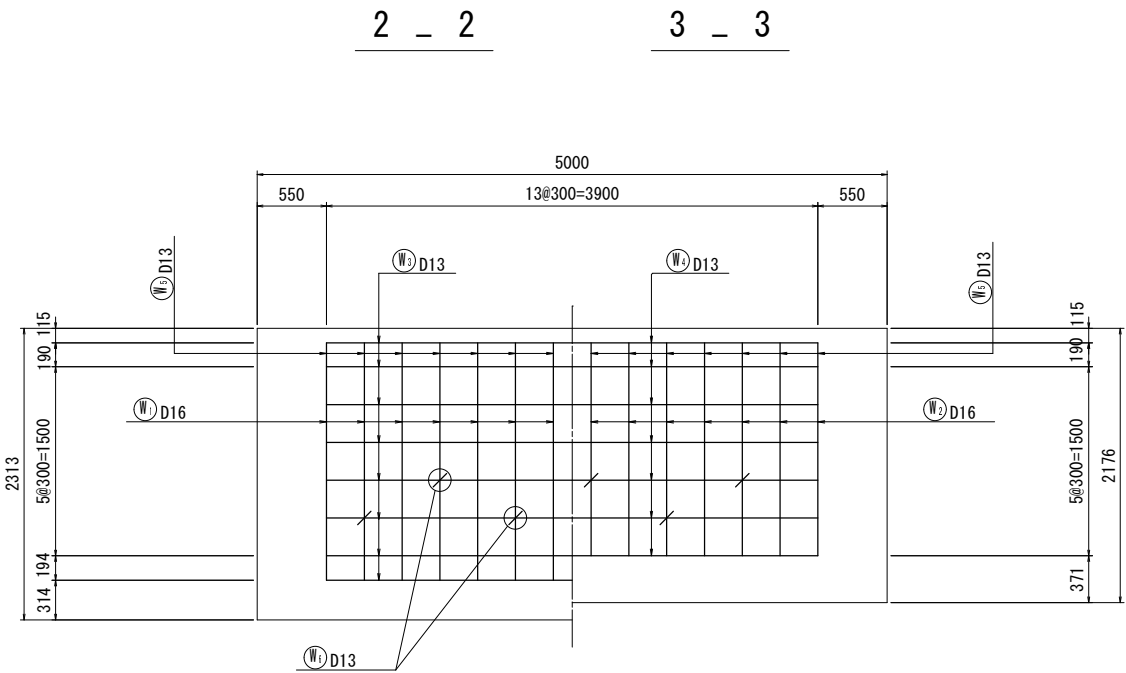
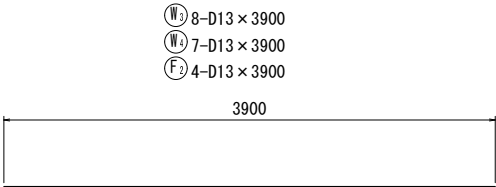
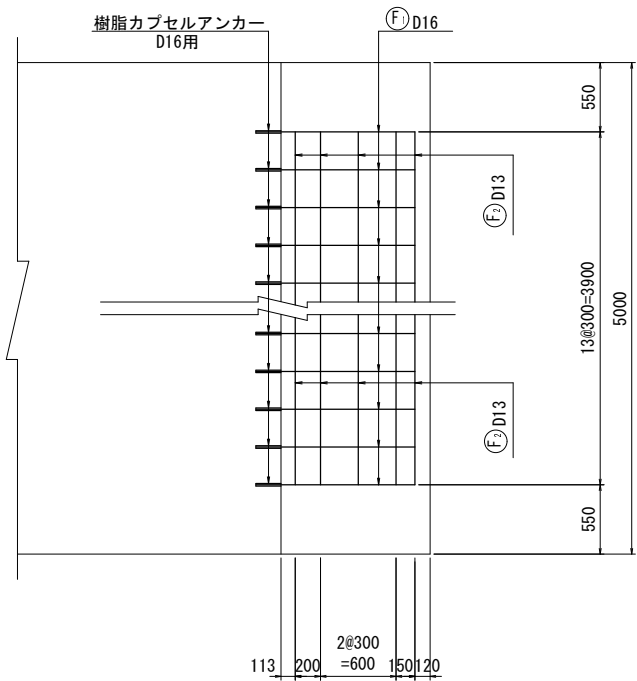
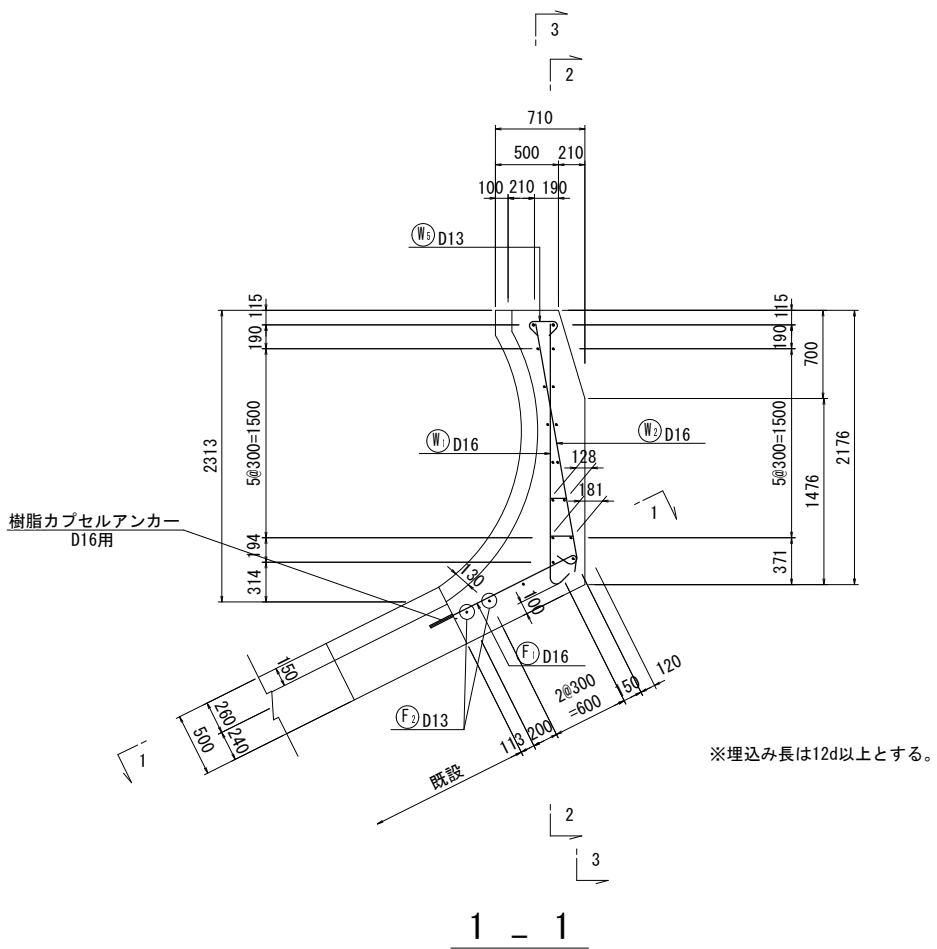
体 積	m ³	2.665
参考重量	kg	6396

(参考図)

事業名	平成30年度浸水対策下水道事業		
工事名	新南五味塚ポンプ場場内整備工事		
工事場所	四日市市楠町南五味塚地内		
名称	プレキャスト波返工図		
縮尺	1/20	設計年月日	平成 年 月 日
工種		設計者	
事業主体	四日市市 上下水道局	図面番号	K-2

プレキャスト波返工配筋図 S=1 : 30
(参考図)

断面図



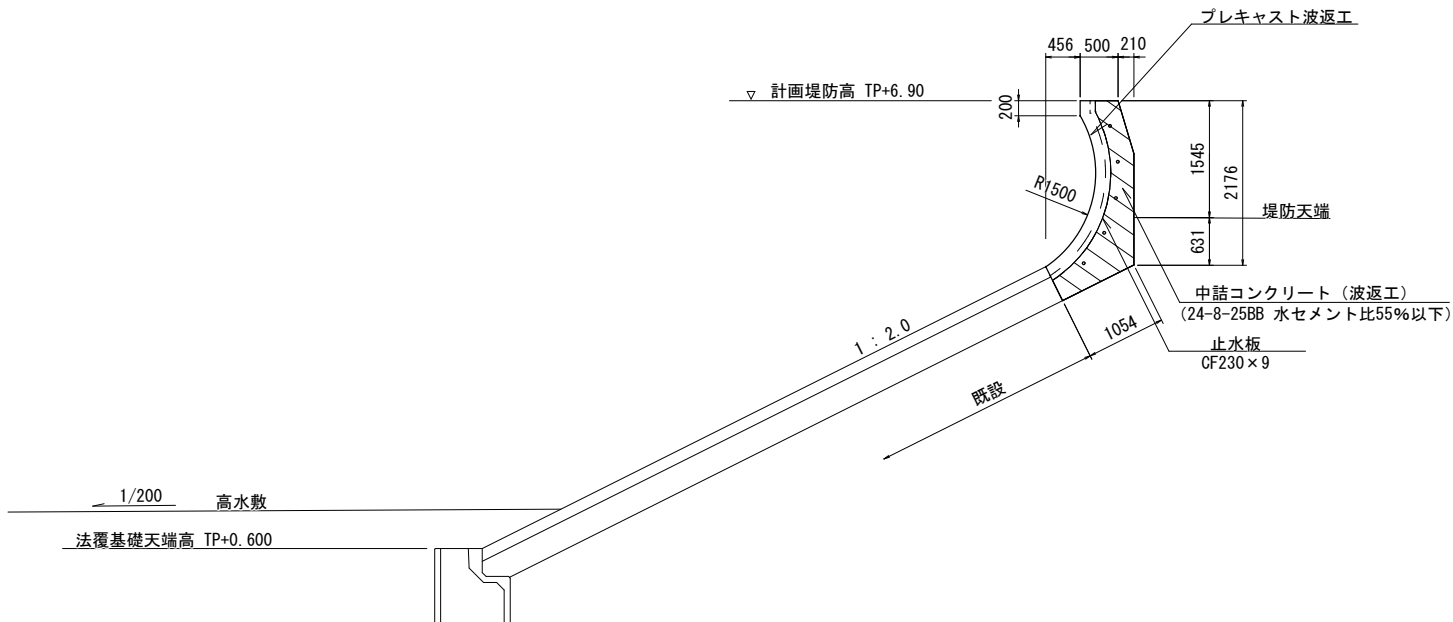
波 返 工 鉄 筋 表 (10m当り計算)								
記 号	径 (mm)	長 さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当質量 (kg)	質 量 (kg)	形 状	摘 要
W1	D16	2210	28	1.560	3.45	97	↓	
W2	D16	2070	28	1.560	3.23	90	↓	
W3	D13	3900	16	0.995	3.88	62	—	
W4	D13	3900	14	0.995	3.88	54	—	
W5	D13	480	28	0.995	0.48	13	↖ ↗	
W6	D13	355	12	0.995	0.35	4	↖ ↗ (平均長)	
F1	D16	1450	28	1.560	2.26	63	→	
F2	D13	3900	8	0.995	3.88	31	—	
				D13	164	kg		
				D16	250	kg		
				1スパン10m当りの鉄筋質量		414	kg	
				樹脂カプセルアンカー (D16用)		28	個	

(参考図)

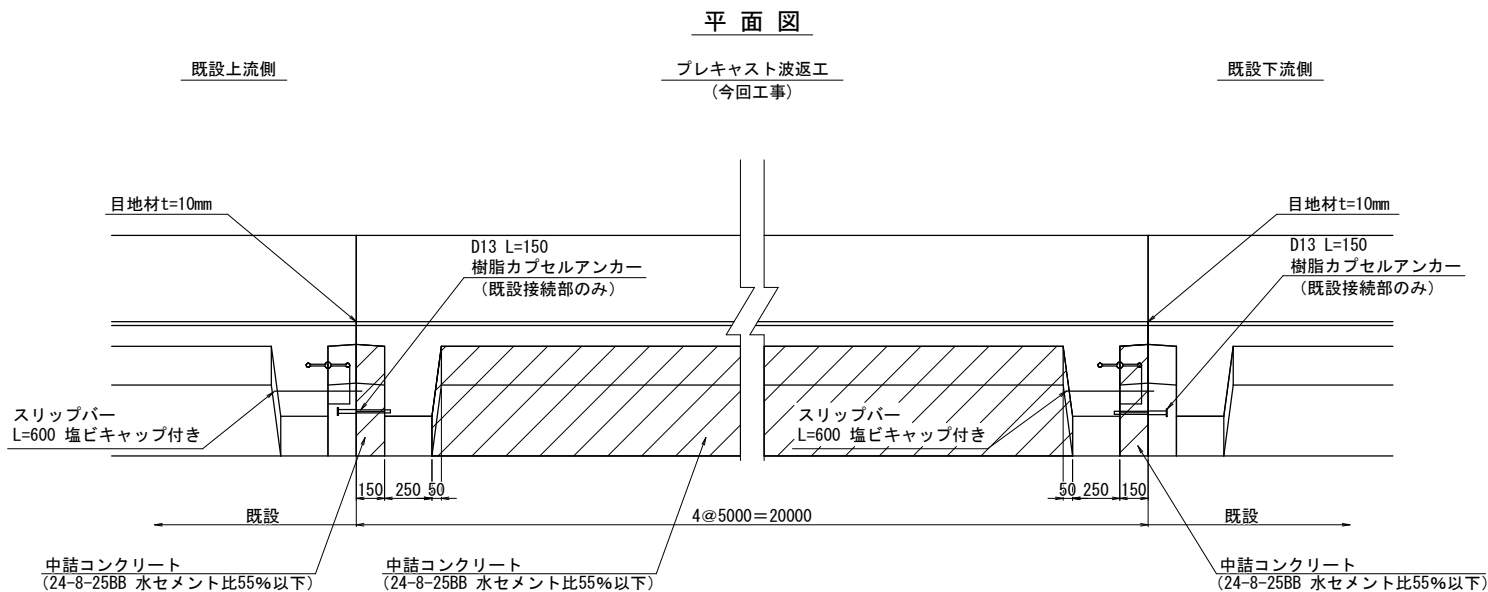
事 業 名	平成30年度浸水対策下水道事業		
工 事 名	新南五味塚ポンプ場内整備工事		
工事場所	四日市市楠町南五味塚地内		
名 称	プレキャスト波返工配筋図		
縮 尺	1/30	設計年月日	平成 年 月 日
工 種	設計者		
事業主体	四日市市 上下水道局	図面番号	K-3

プレキャスト波返工詳細図 S=1 : 50
(参考図)

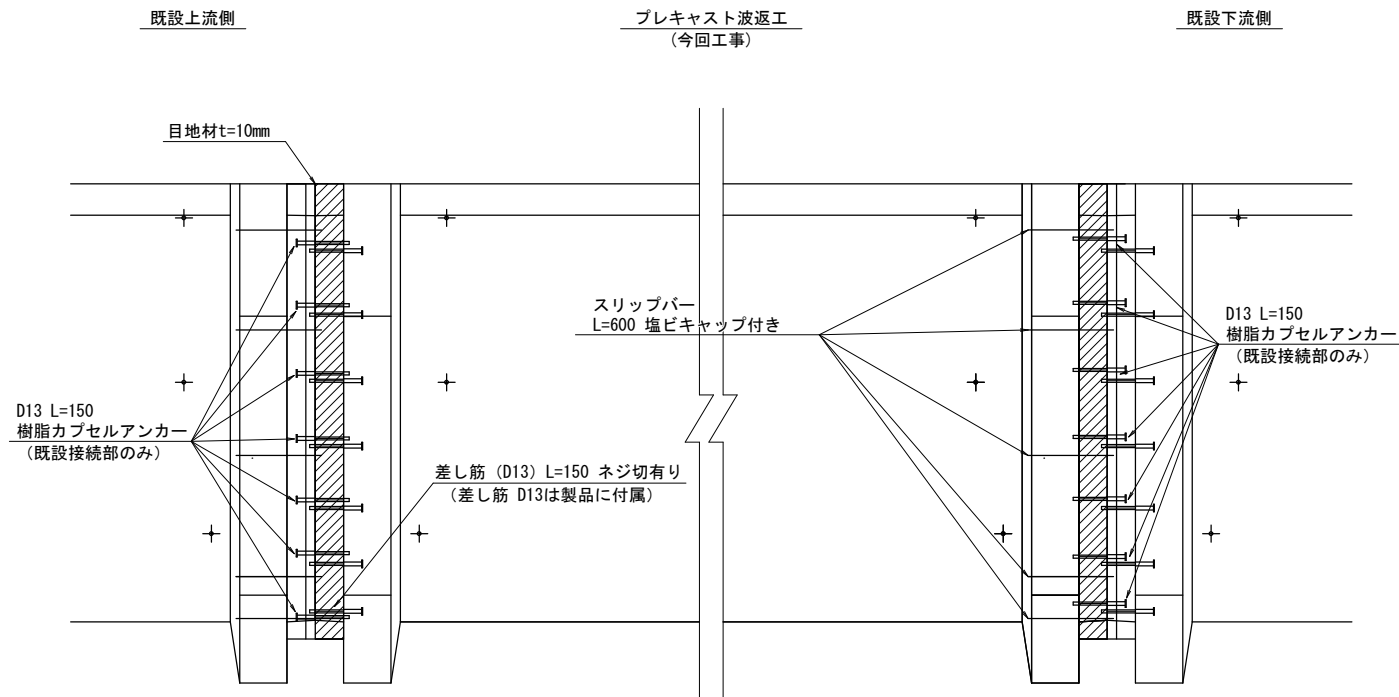
標準断面図 S=1:50



既設接続部詳細図 S=1:50



断面図



プレキャスト波返工数量集計表

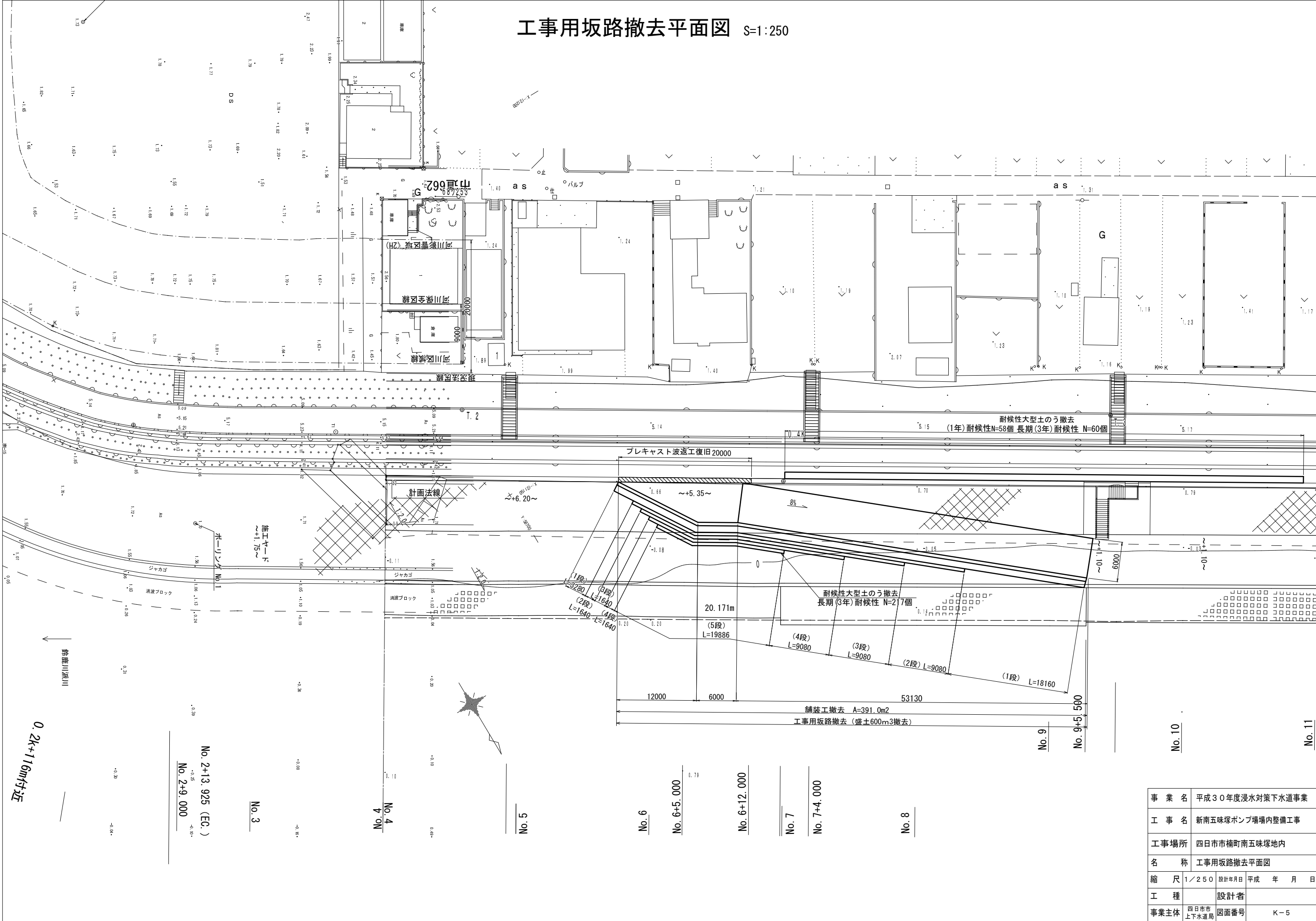
名 称	細 別	規 格	単 位	数 量	摘 要
プレキャスト波返工					
	プレキャスト波返	R1,500 L=5,000	本	4.0	
	中詰コンクリート	24-8-25BB (水セメント比55%以下)	m ³	21.9	
	鉄筋	SD345 D13	t	0.33	
	鉄筋	SD345 D16~25	t	0.5	
	型枠		m ²	44.1	
	目地材	樹脂発泡体 (15倍) t=10	m ²	8.1	
	樹脂カプセルアンカー	D13用	本	14.0	
		D16用	本	56.0	
	表面チッピング工		m ²	13.3	

記) 既設接続部は表面チッピング処置を行うこと。

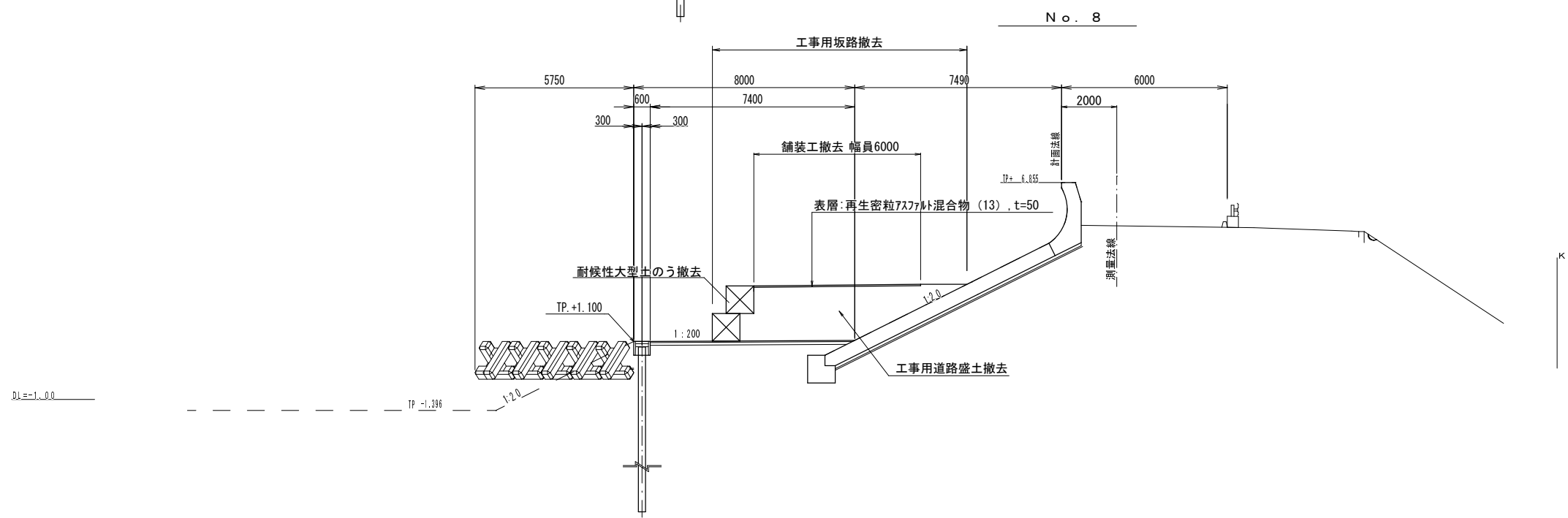
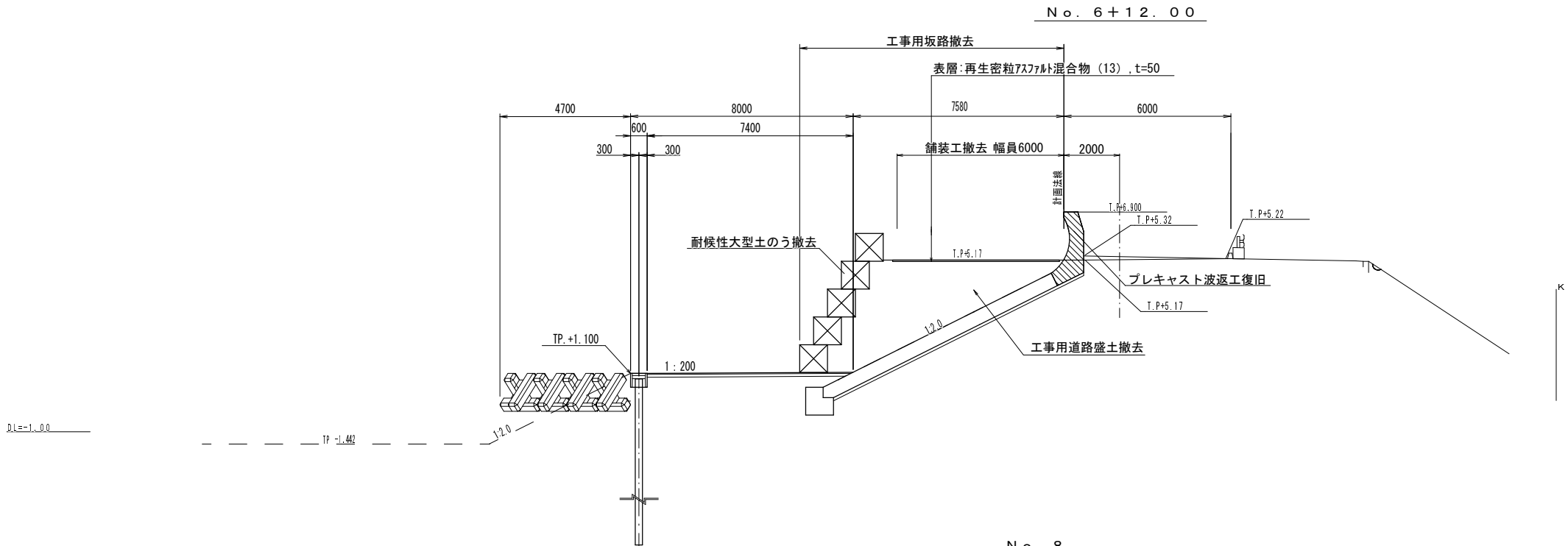
(参考図)

事 業 名	平成30年度浸水対策下水道事業		
工 事 名	新南五味塚ポンプ場場内整備工事		
工事場所	四日市市楠町南五味塚地内		
名 称	プレキャスト波返工詳細図		
縮 尺	1/50	設計年月日	平成 年 月 日
工 種	設計者		
事業主体	四日市市 上下水道局	図面番号	K-4

工事用坂路撤去平面図 S=1:250



工事用坂路撤去断面図 S=1:100



事業名	平成30年度浸水対策下水道事業		
工事名	新南五味塚ポンプ場場内整備工事		
工事場所	四日市市楠町南五味塚地内		
名称	工事用坂路撤去断面図		
縮尺	1/100	設計年月日	平成 年 月 日
工種	設計者		
事業主体	四日市市 上下水道局	図面番号	K-6

新南五味塚ポンプ場場内整備工事

工事設計図

仕様書

I. 工事概要

1. 工事場所 四日市市楠町南五味塚字中島地内

- ## 2. 建物概要

[illegible]

3. 工事種目 (○印のついたものを適用する)

建築物及び屋外	工	事	種	別	屋外
工事種目					
電灯設備					
動力設備					
電気自動車用充電設備					
電熱設備					
雷保護設備					
受変電設備					
発電設備					
構内情報通信網設備					
構内交換設備					
情報表示設備					
映像・音響設備					
拡声設備					
誘導支援設備					
テレビ共用受信設備					
監視カメラ設備					
駐車場管制設備					
防犯・入退室管理設備					
火災報知設備					
中央監視制御設備					
○ 構内配電線路					新設一式
構内通信線路					
テレビ電波障害除去工事					
建築工事					
機械設備工事					

4. 指定部分 ☒ 有 対象部分 ()
指定部分工期 平成 年 月 日

Ⅱ. 工事仕様

1. 共通仕様

- (1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁審議部制定の下記仕様書等のうち、
○印の付いたものによる。
- 公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（平成28年版）（以下、「標準仕様書」という。）
 - 公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）（平成28年版）（以下、「改修標準仕様書」という。）
 - 公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）（平成28年版）（以下、「標準図」という。）

- ## 2. 特記仕様

- 項目及び特記事項は○印の付いたものを適用する。

項	目	特 記 事 項
適用区分	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 風圧力 風速 ($V_1=34m/s$) 地表面粗度区分 (Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ) 積雪荷重 垂直積雪量 (0.3m)	
環境への配慮	(1) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。 ① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発生が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ② 接着剤及び塗料はトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③ 接着剤、可塑剤（フタル酸ジノープル及びフタル酸ジ－２－エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。 ④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実証台、その他の什器等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないが、発生が極めて少ない材料を使用したものとする。 (2) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは、次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。 ① 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料 ② 建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 ③ 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料 ④ 建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 (3) 「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」に基づく特定調達物品等に関する判断の基準は、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（平成27年2月閣議決定）」による。	

項

目

①

材料・機材の品質等

(1) 本工事に使用する材料・機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有するべき品質及び性能を有するものとする。

(2) 下表に示す材料・機材等の製造業者等は次の①から⑥すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承諾を受ける。ただし、製造業者等が記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。

① 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。

② 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。

③ 安定的な供給が可能であること。

④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。

⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。

⑥ 販売、保守等の営業体制が整えられていること。

機 材 名 称

蛍光灯器具
(非常照明器具及び防災用照明器具を除く)

高圧直相コンデンサ

LED照明器具 (一般屋に限る)

高圧限流ヒューズ

照明制御装置

高圧食荷開閉器

可変速電動機用インバータ装置

高圧変圧器 (特定機器)

分電盤

交流無停電電源装置

制御盤

太陽光発電装置
(インバータ及び系統連係保護装置)

キュービクル式配電盤

監視カメラ装置

高圧スイッチギア (CWR形、PW形)

中央監視制御装置 (監視制御装置)

高圧交流遮断器

④

電源周波数

50Hz

☐60Hz

⑤

電気工作物の種類

☐事業用電気工作物
一般用電気工作物
電気保安技術者
(要) 不要

⑥

電気工事士

契約電力500kW以上の電気工作物においても、第一種電気工事士により施工を行うものとする。

7

工事用仮設物

すべて受注者の負担とする。
構内につくることが ・ できる ・ できない

⑧

足場その他

☐別契約の関係受注者が設置したものは、単独で使用できる。
本工事で設置とする。〔改修標準仕様書 第1編 2.2.2によるほか下記による。〕
「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における(2)手すり据え置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。
・ 内部足場の種別 (種)
・ 外部足場の種別 (種)

9

仮設備工事

仮設備期間 (・ 図示 ・)
仮電源等 (・ 受変電設備 ・ 発電設備 ・)

10

養生

養生範囲 (・ ・)
養生方法 (・ ・)

11

施工調査

事前調査 ・ 本工事
調査項目 ・ 既存資料調査
調査範囲 ・ 図示
調査方法 ・ 図示
・ はつり工事及び穿孔作業を行う場合は、事前に走査型設備調査を行い、監督職員に報告を行うこと。
・ 石綿含有分析調査 (定性分析により石綿が含有されている場合は、定量分析を実施する。)

⑫

非破壊検査等

構造部等の機械はつり箇所は、非破壊検査等による建設物の調査を行い、監督職員に報告書を提出する。なお、放射線透過検査による場合は特記とし、撮影枚数は、1枚以上/部位とする。

13

穿孔作業

既存躯体に穿孔する場合は金属探知により電源供給が停止できる付属装置等を使用する。

14

耐震安全性の分類と耐震施工

(1) 「官庁施設の総合耐震計画基準 (平成19年12月5日国土交通省大臣官房官庁営繕部制定)」による耐震安全性の分類は下記による。

構造体	I 類	II 類	III 類
建築非構造部材	A 類	B 類	
建築設備	甲 類		乙 類

(2) 設備機器、電気配線の固定は、次に示す事項を除き、すべて「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(独立行政法人建築研究所監修)による。(100kg以上の機器を対象とする。)

1) 設計用水平地震力
機器の重量[kN]に、設計用水平震度を乗じたものとする。
なお特記なき場合、設計用水平震度は次による。

設置場所	機器種別	特定の施設		○ 一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
屋上及び塔屋	水 槽 類	2.0	1.5	1.5	1.0
	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6
中間階	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水 槽 類	1.5	1.0	1.0	0.6
地下・1階	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水 槽 類	1.5	1.0	1.0	0.6

※水槽類には、オルタンク等を含むものとする。
上層階とは、2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4層とする。
中間階とは、地階、1階を除く各階で上層階に該当しないものとする。

重要機器
配電盤 発電装置 直流電源装置 交流無停電電源装置
交換機 火災報知受信機 中央監視制御装置
その他 ()

2) 設計用鉛直地震力
設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。

⑮

建設発生土の処理

構外搬出適切な処理とする。
埋戻し後の建設発生土は、監督職員が指示する構内の場所に敷きならしとする。

⑯

電線本数、管路等

分電盤、制御盤及び端子盤等の二次側以降の配管・配線は、経路、電線太さ、電線本数、管径等は監督職員の承認を受けて変更しても差し支えない。
また、機械室等の床埋設配管は図面より所管で記載している場合であっても、立上げ部分等の露出配管部分は金属管とし、その場合は全長に亘って接地線を設ける。

⑰

金属製電線管の塗装・仕上げ

下記の金属製電線管の露出配管は塗装、めっき等の仕上げを行う。
屋外（ 内外亜硫酸亜鉛メッキ仕上り箇所：全て 塗装箇所：屋上を除くすべての箇所 ）
屋内（ 内外亜硫酸亜鉛メッキ仕上り箇所 地盤、ビット箇所 ）
（ 塗装箇所 ビット箇所、EPSを除くすべての箇所 ）

18

フラッシュプレート

図面に特記なき場合は、○金属製（ステンレス、新金属も含む） 樹脂製 とする。

⑰

電 線 類

EM-UTPケーブルは、用途に応じ色分けすること。

20

二重床内器具

二重床内に設置する器具の位置表示として、マーキングを直上の天井面に付けること。
また、用途に応じ色分けすること。

21

インバータ装置の規約効率

三相可変速電動機用インバータ装置の規約効率は次の数値以上とする。

電動機出力 (kW)	0.4	0.75	1.5	2.2	3.7	5.5	7.5	11	15	18.5	22	30	37	45
規約効率 (%)	86.0	88.5	92.0	93.0	94.0	94.0	94.5	94.5	95.0	95.5	96.5	96.5	96.5	96.5

備考（１）規約効率は、JET-TR245「汎用インバータの規約効率」により算出した値とする。
（２）規約効率は、JIS C 4212「高効率低圧三相かご形誘導電動機」の定格電圧200V、IP4X、6極、50Hzの電動機を駆動したときの値とする。

22

高効率誘導電動機の配線用遮断器等の選定

高効率誘導電動機回路保護用の配線用遮断器等の選定は下記による。

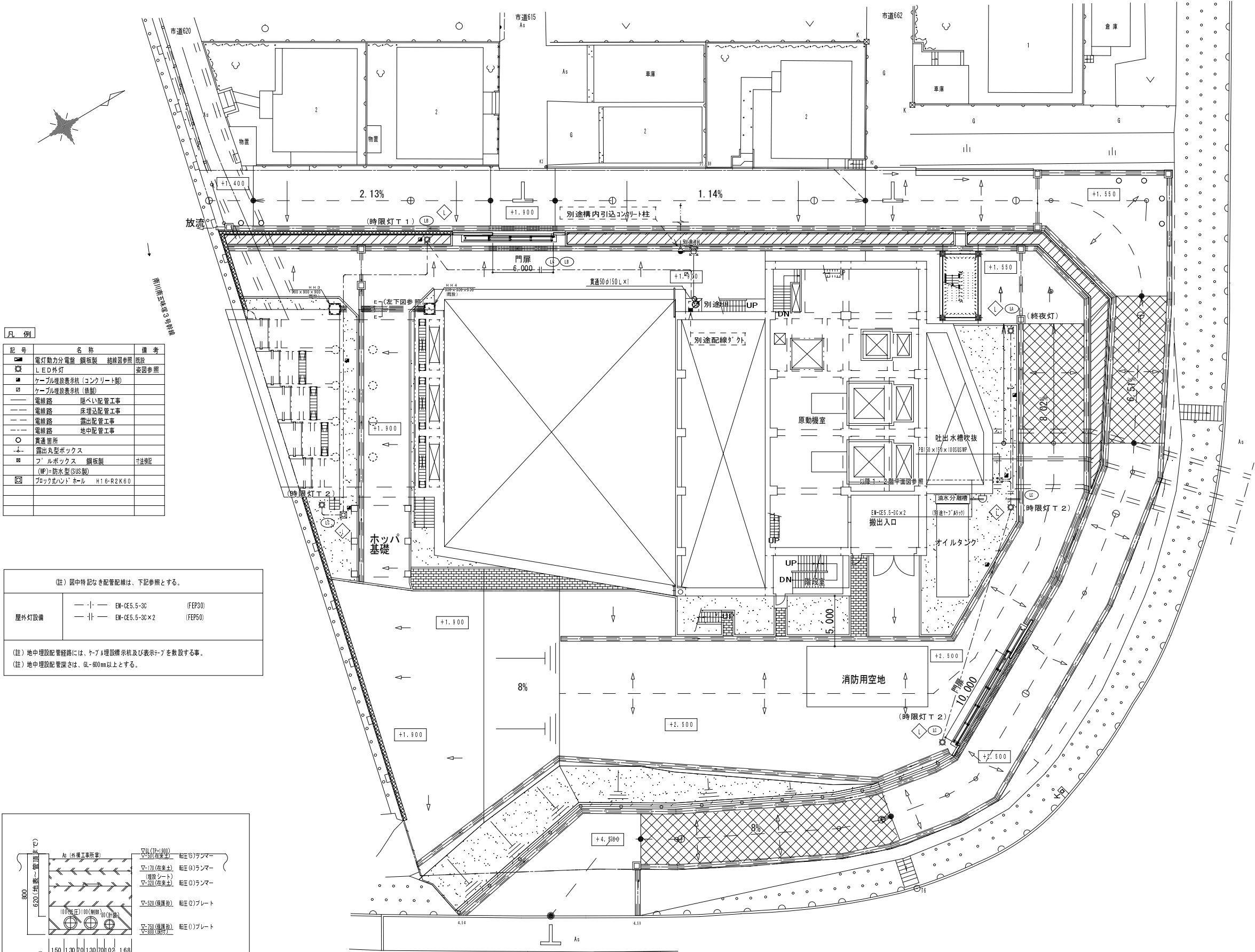
200V三相誘導電動機回路の器具容量等																	
電 動 機		器具容量、コンデンサ回路の配線															
		配線用遮断器等 [A]				電流計 [A]	コンデンサ回路				コンデンサ [μF]						
		定格出力 [kW]	定格電流 [A]	直入起動 MCCB	Y-Δ 起動 MCCB		接続する電線の最小太さ [mm ²]										
0.2	1.8	15	—	15	3	2.0	2.0	2.0	15	10	50Hz	60Hz					
0.4	3.2	15	—	15	5	2.0	2.0	2.0	20	15							
0.75	4.8	15	—	15	5	2.0	2.0	2.0	30	20							
1.5	8	30	—	15	10	2.0	2.0	2.0	40	30							
2.2	11.1	40	—	20	10	2.0	2.0	2.0	50	40							
3.7	17.4	75	—	30	20	2.0	2.0	2.0	75	50							
5.5	26	100	60	50	30	3.5	5.5	2.0	100	75							
7.5	34	125	75	60	50	3.5	5.5	2.0	150	100							
11	48	125	125	75	60	8.0	14	2.0	200	150							
15	66	125	150	125	60	8.0	14	2.0	250	200							
18.5	79	150	175	125	100	14	22	3.5	300	250							
22	83	175	200	150	100	14	22	3.5	400	300							
30	124	250	300	200	150	14	22	5.5	500	400							
37	152	300	350	225	200	14	22	8.0	600	500							
45	190	400	450	200	200												
55	228	450	500		250												

項 目		特 記 事 項																																																																																																																																	
23	接 地 極	接地極の材料は下記による。なお、接地棒EB(14φ)の長さは、1,500mm以上とし、10φはW=30 L=900mm 以上、14φは、W=40 L=1,200mm 以上としても差し支えない。 <table><tr><th>接 地 の 種 類</th><th>記 号</th><th>接地抵抗値</th><th>接 地 極</th></tr><tr><td>共同接地</td><td>E_{1,1,1,1}</td><td>Ω 以下</td><td>EB (14φ) × 3 連－3 組</td></tr><tr><td>共同接地</td><td>E_{1,1,1}</td><td>10Ω 以下</td><td>EB (14φ) × 3 連－3 組</td></tr><tr><td>A 種</td><td>E₁</td><td>10Ω 以下</td><td>EB (14φ) × 3 連－2 組</td></tr><tr><td>B 種</td><td>E₁</td><td>Ω 以下</td><td>EB (14φ) × 3 連－2 組</td></tr><tr><td>D 種</td><td>E₁</td><td>100Ω 以下</td><td>EB (10φ) × 1 (L=1,000mm)</td></tr><tr><td>C 種</td><td>E₁</td><td>10Ω 以下</td><td>EB (14φ) × 3 連－2 組</td></tr><tr><td>高圧避雷器用</td><td>E₁₁</td><td>10Ω 以下</td><td>EB (14φ) × 3 連－3 組</td></tr><tr><td>低圧避雷器用</td><td>E₁₁</td><td>10Ω 以下</td><td>EB (14φ) × 3 連－2 組</td></tr><tr><td>構造体接地</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>交換機用</td><td>E₁</td><td>10Ω 以下</td><td>EB (14φ) × 3 連－3 組</td></tr><tr><td>通信用</td><td>E₁₁</td><td>10Ω 以下</td><td>EB (14φ) × 3 連－3 組</td></tr><tr><td>通信用</td><td>E₁₁</td><td>100Ω 以下</td><td>EB (10φ) × 1 (L=1,000mm)</td></tr><tr><td>電話引込口の保安器用</td><td>E₁₁</td><td>100Ω 以下</td><td>EB (10φ) × 1 (L=1,000mm)</td></tr><tr><td>測定用</td><td>E₁</td><td></td><td>EB (10φ) × 1 (L=1,000mm)</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	接 地 の 種 類	記 号	接地抵抗値	接 地 極	共同接地	E _{1,1,1,1}	Ω 以下	EB (14φ) × 3 連－3 組	共同接地	E _{1,1,1}	10Ω 以下	EB (14φ) × 3 連－3 組	A 種	E ₁	10Ω 以下	EB (14φ) × 3 連－2 組	B 種	E ₁	Ω 以下	EB (14φ) × 3 連－2 組	D 種	E ₁	100Ω 以下	EB (10φ) × 1 (L=1,000mm)	C 種	E ₁	10Ω 以下	EB (14φ) × 3 連－2 組	高圧避雷器用	E ₁₁	10Ω 以下	EB (14φ) × 3 連－3 組	低圧避雷器用	E ₁₁	10Ω 以下	EB (14φ) × 3 連－2 組	構造体接地				交換機用	E ₁	10Ω 以下	EB (14φ) × 3 連－3 組	通信用	E ₁₁	10Ω 以下	EB (14φ) × 3 連－3 組	通信用	E ₁₁	100Ω 以下	EB (10φ) × 1 (L=1,000mm)	電話引込口の保安器用	E ₁₁	100Ω 以下	EB (10φ) × 1 (L=1,000mm)	測定用	E ₁		EB (10φ) × 1 (L=1,000mm)																																																																					
接 地 の 種 類	記 号	接地抵抗値	接 地 極																																																																																																																																
共同接地	E _{1,1,1,1}	Ω 以下	EB (14φ) × 3 連－3 組																																																																																																																																
共同接地	E _{1,1,1}	10Ω 以下	EB (14φ) × 3 連－3 組																																																																																																																																
A 種	E ₁	10Ω 以下	EB (14φ) × 3 連－2 組																																																																																																																																
B 種	E ₁	Ω 以下	EB (14φ) × 3 連－2 組																																																																																																																																
D 種	E ₁	100Ω 以下	EB (10φ) × 1 (L=1,000mm)																																																																																																																																
C 種	E ₁	10Ω 以下	EB (14φ) × 3 連－2 組																																																																																																																																
高圧避雷器用	E ₁₁	10Ω 以下	EB (14φ) × 3 連－3 組																																																																																																																																
低圧避雷器用	E ₁₁	10Ω 以下	EB (14φ) × 3 連－2 組																																																																																																																																
構造体接地																																																																																																																																			
交換機用	E ₁	10Ω 以下	EB (14φ) × 3 連－3 組																																																																																																																																
通信用	E ₁₁	10Ω 以下	EB (14φ) × 3 連－3 組																																																																																																																																
通信用	E ₁₁	100Ω 以下	EB (10φ) × 1 (L=1,000mm)																																																																																																																																
電話引込口の保安器用	E ₁₁	100Ω 以下	EB (10φ) × 1 (L=1,000mm)																																																																																																																																
測定用	E ₁		EB (10φ) × 1 (L=1,000mm)																																																																																																																																
24	天井仕上り表示	図面において、室名に () を付したものは直天吊を示し、それ以外は二重天吊の部屋を示す。																																																																																																																																	
②③	取付高さ	壁付、壁掛けの機器等の取付高さは、図面に記載のない場合は原則として下表による。 <table><tr><th>名 称</th><th>測 点</th><th>取付高さ [mm]</th></tr><tr><td>ブラケット (一般)</td><td>床土 ～ 中心</td><td>2,100</td></tr><tr><td>〃 (踏場)</td><td>〃</td><td>2,500</td></tr><tr><td>〃 (鏡上)</td><td>鏡上端 ～ 中心</td><td>150</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>スイッチ (一般)</td><td>床土 ～ 中心</td><td>1,200</td></tr><tr><td>〃 (多機能便所用)</td><td>〃</td><td>1,200</td></tr><tr><td>ソケット、電話用ソケット、テレビ端子 (一般)</td><td>〃</td><td>400</td></tr><tr><td>〃 (和室)</td><td>〃</td><td>150</td></tr><tr><td>〃 (台上)</td><td>台上 ～ 中心</td><td>150</td></tr><tr><td>コンセント (土間)</td><td>床土 ～ 中心</td><td>800 ～ 1,300</td></tr><tr><td>コンセント (電動車いす充電用)</td><td>〃</td><td>900</td></tr><tr><td>引込開閉器箱 (低圧)</td><td>床土 ～ 上端</td><td>1,500</td></tr><tr><td>分電盤、制御盤、実験盤</td><td>床土 ～ 中心</td><td>1,500 (上端1,900以下)</td></tr><tr><td>開閉器箱</td><td>〃</td><td>1,500</td></tr><tr><td>電磁開閉器用押しボタン</td><td>〃</td><td>1,200</td></tr><tr><td>接地用端子箱</td><td>地上、床土 ～ 中心</td><td>500</td></tr><tr><td>試験用接続端子箱</td><td>床土 ～ 下端</td><td>800</td></tr><tr><td>接地極埋設機</td><td>地上 ～ 中心</td><td>600</td></tr><tr><td>給油ボックス</td><td>地上 ～ 給油口</td><td>1,000</td></tr><tr><td>室内端子盤 (廊下・室内)</td><td>床土 ～ 下端</td><td>300</td></tr><tr><td>中間端子盤 (EPS・電気室)</td><td>床土 ～ 中心</td><td>1,500</td></tr><tr><td>壁付電話機</td><td>〃</td><td>1,300</td></tr><tr><td>視時計</td><td>〃</td><td>1,500 (上端1,900以下)</td></tr><tr><td>子時計、スピーカ</td><td>〃</td><td>(天井高) × 0.9</td></tr><tr><td>アッテネータ</td><td>〃</td><td>1,200</td></tr><tr><td>表示盤</td><td>〃</td><td>(天井高) × 0.9</td></tr><tr><td>発信器 (出退表示用)</td><td>〃</td><td>1,200</td></tr><tr><td>外部受付用インターホン (子機)</td><td>〃</td><td>標準図による</td></tr><tr><td>壁付インターホン (上記以外)</td><td>〃</td><td>1,100</td></tr><tr><td>呼出ボタン (多機能便所用)</td><td>〃</td><td>900</td></tr><tr><td>復帰ボタン (〃)</td><td>〃</td><td>1,300</td></tr><tr><td>廊下表示灯 (〃)</td><td>〃</td><td>2,000</td></tr><tr><td>テレビ機器収音箱</td><td>天井下 ～ 上端</td><td>200</td></tr><tr><td>火報受信機 (複合盤)</td><td>床土 ～ 操作部</td><td>800 ～ 1,500</td></tr><tr><td>副受信機</td><td>床土 ～ 中心</td><td>1,500</td></tr><tr><td>機器収音箱 (火災報知設備)</td><td>〃</td><td>800 ～ 1,500</td></tr><tr><td>発信機</td><td>〃</td><td>800 ～ 1,500</td></tr><tr><td>警報ベル</td><td>〃</td><td>(天井高) × 0.9</td></tr><tr><td>表示灯 (火災報知設備)</td><td>〃</td><td>(天井高) × 0.8</td></tr><tr><td>運動制御器 (自動閉鎖)</td><td>〃</td><td>1,500</td></tr><tr><td>ガス漏れ検知器 (重ガス)</td><td>〃</td><td>300</td></tr><tr><td>ガス漏れ検知器 (軽ガス)</td><td>天井面 ～ 中心</td><td>(天井高) ～ 200</td></tr></table> (参考) 天井面を基準とする取付高は、天井高さが 2,500mm から 3,000mm の場合に適用する。 天井高さが 3,000mm 以上の場合及び機器の使用に支障が生じる場合は、監督職員と協議する。	名 称	測 点	取付高さ [mm]	ブラケット (一般)	床土 ～ 中心	2,100	〃 (踏場)	〃	2,500	〃 (鏡上)	鏡上端 ～ 中心	150				スイッチ (一般)	床土 ～ 中心	1,200	〃 (多機能便所用)	〃	1,200	ソケット、電話用ソケット、テレビ端子 (一般)	〃	400	〃 (和室)	〃	150	〃 (台上)	台上 ～ 中心	150	コンセント (土間)	床土 ～ 中心	800 ～ 1,300	コンセント (電動車いす充電用)	〃	900	引込開閉器箱 (低圧)	床土 ～ 上端	1,500	分電盤、制御盤、実験盤	床土 ～ 中心	1,500 (上端1,900以下)	開閉器箱	〃	1,500	電磁開閉器用押しボタン	〃	1,200	接地用端子箱	地上、床土 ～ 中心	500	試験用接続端子箱	床土 ～ 下端	800	接地極埋設機	地上 ～ 中心	600	給油ボックス	地上 ～ 給油口	1,000	室内端子盤 (廊下・室内)	床土 ～ 下端	300	中間端子盤 (EPS・電気室)	床土 ～ 中心	1,500	壁付電話機	〃	1,300	視時計	〃	1,500 (上端1,900以下)	子時計、スピーカ	〃	(天井高) × 0.9	アッテネータ	〃	1,200	表示盤	〃	(天井高) × 0.9	発信器 (出退表示用)	〃	1,200	外部受付用インターホン (子機)	〃	標準図による	壁付インターホン (上記以外)	〃	1,100	呼出ボタン (多機能便所用)	〃	900	復帰ボタン (〃)	〃	1,300	廊下表示灯 (〃)	〃	2,000	テレビ機器収音箱	天井下 ～ 上端	200	火報受信機 (複合盤)	床土 ～ 操作部	800 ～ 1,500	副受信機	床土 ～ 中心	1,500	機器収音箱 (火災報知設備)	〃	800 ～ 1,500	発信機	〃	800 ～ 1,500	警報ベル	〃	(天井高) × 0.9	表示灯 (火災報知設備)	〃	(天井高) × 0.8	運動制御器 (自動閉鎖)	〃	1,500	ガス漏れ検知器 (重ガス)	〃	300	ガス漏れ検知器 (軽ガス)	天井面 ～ 中心	(天井高) ～ 200
名 称	測 点	取付高さ [mm]																																																																																																																																	
ブラケット (一般)	床土 ～ 中心	2,100																																																																																																																																	
〃 (踏場)	〃	2,500																																																																																																																																	
〃 (鏡上)	鏡上端 ～ 中心	150																																																																																																																																	
スイッチ (一般)	床土 ～ 中心	1,200																																																																																																																																	
〃 (多機能便所用)	〃	1,200																																																																																																																																	
ソケット、電話用ソケット、テレビ端子 (一般)	〃	400																																																																																																																																	
〃 (和室)	〃	150																																																																																																																																	
〃 (台上)	台上 ～ 中心	150																																																																																																																																	
コンセント (土間)	床土 ～ 中心	800 ～ 1,300																																																																																																																																	
コンセント (電動車いす充電用)	〃	900																																																																																																																																	
引込開閉器箱 (低圧)	床土 ～ 上端	1,500																																																																																																																																	
分電盤、制御盤、実験盤	床土 ～ 中心	1,500 (上端1,900以下)																																																																																																																																	
開閉器箱	〃	1,500																																																																																																																																	
電磁開閉器用押しボタン	〃	1,200																																																																																																																																	
接地用端子箱	地上、床土 ～ 中心	500																																																																																																																																	
試験用接続端子箱	床土 ～ 下端	800																																																																																																																																	
接地極埋設機	地上 ～ 中心	600																																																																																																																																	
給油ボックス	地上 ～ 給油口	1,000																																																																																																																																	
室内端子盤 (廊下・室内)	床土 ～ 下端	300																																																																																																																																	
中間端子盤 (EPS・電気室)	床土 ～ 中心	1,500																																																																																																																																	
壁付電話機	〃	1,300																																																																																																																																	
視時計	〃	1,500 (上端1,900以下)																																																																																																																																	
子時計、スピーカ	〃	(天井高) × 0.9																																																																																																																																	
アッテネータ	〃	1,200																																																																																																																																	
表示盤	〃	(天井高) × 0.9																																																																																																																																	
発信器 (出退表示用)	〃	1,200																																																																																																																																	
外部受付用インターホン (子機)	〃	標準図による																																																																																																																																	
壁付インターホン (上記以外)	〃	1,100																																																																																																																																	
呼出ボタン (多機能便所用)	〃	900																																																																																																																																	
復帰ボタン (〃)	〃	1,300																																																																																																																																	
廊下表示灯 (〃)	〃	2,000																																																																																																																																	
テレビ機器収音箱	天井下 ～ 上端	200																																																																																																																																	
火報受信機 (複合盤)	床土 ～ 操作部	800 ～ 1,500																																																																																																																																	
副受信機	床土 ～ 中心	1,500																																																																																																																																	
機器収音箱 (火災報知設備)	〃	800 ～ 1,500																																																																																																																																	
発信機	〃	800 ～ 1,500																																																																																																																																	
警報ベル	〃	(天井高) × 0.9																																																																																																																																	
表示灯 (火災報知設備)	〃	(天井高) × 0.8																																																																																																																																	
運動制御器 (自動閉鎖)	〃	1,500																																																																																																																																	
ガス漏れ検知器 (重ガス)	〃	300																																																																																																																																	
ガス漏れ検知器 (軽ガス)	天井面 ～ 中心	(天井高) ～ 200																																																																																																																																	
26	他工事又は他工種との取り合い	工事区分表による。ただし、これにより難い場合は、監督職員と協議する。																																																																																																																																	

事 業 名		平成 3 0 年度浸水対策下水道事業	
工 事 名		新南五味塚ポンプ場場内整備工事	
工事場所		四日市市楠町南五味塚地内	
名 称		特記仕様書 建築電気設備 (1)	
縮 尺	一	設計年月日	平成 年 月
工 種		設計者	
事業主体	四日市市上下水道局	図面番号	A E - 1

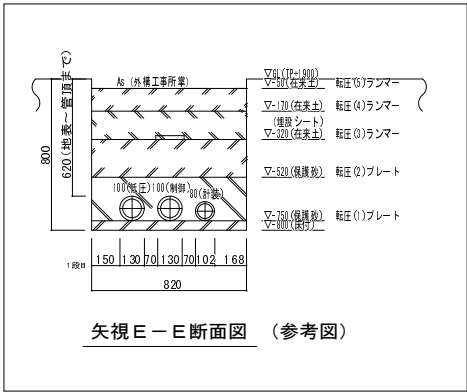
項目	特記事項	特記事項	特記事項	アスベスト含有物の取扱い	
27 工事用電力、水等	・本工事に必要な工事用電力、水等の費用及び官公署その他の関係機関への諸手続等に要する費用は、受注者の負担とする。 ・市支給とする。ただし、構内既存施設より利用可能な範囲に限る。	38 鋼製電線管	特記なき鋼製電線管(19.25、・・・75)の表示は全て薄鋼電線管とする。 但し、屋内箇所においては、表示されているものと同一外形のねじなし電線管(E19.E25、・・・E75)を使用してもよい。	1 一般事項 労働安全衛生法第28条第1項の規定に基づく技術上の指針 (建築物等の解体等の作業での労働者の石綿ばく露防止に関する技術上の指針)を遵守すること。 ・アスベスト除去に伴う官公署等への届出申請を行うこと。 2 アスベスト含有建材の処理工事 アスベスト含有吹付け材の封じ込め処理 ・行う ・行わない アスベスト含有吹付け材の囲い込み処理 ・行う ・行わない アスベスト含有建材除去後の仕上げ ・行う ・行わない 施工箇所及び工法 ・図示 3 アスベスト含有仕上塗材の除去 アスベスト含有仕上塗材の除去(除去工法、養生、粉じん飛散防止措置、呼吸用保護具・保護衣等)については、「建築物の改修、解体時における石綿含有建築用仕上塗材からの石綿粉じん飛散防止処理技術指針」による。 除去仕上塗材() アスベスト含有箇所・吹付主剤・下地調整材(吹付仕上)・下地調整材(ローラー仕上)吹付主剤、下地調整材(吹付仕上)はアスベスト含有吹付け材、下地調整材(ローラー仕上)はアスベスト含有成形板として扱う。 撤去の範囲 ・全面撤去 ・塗外壁補修等作業箇所のみ撤去 ・図示による 外壁補修等作業は足場アンカー設置、コア抜き、機器及び配管、配線器具類の固定等軽微な作業を示す。 除去工法 吹付取材、下地調整材(吹付仕上)の除去 ・集じん装置付高圧水洗工法 ・集じん装置付超高圧水洗工法 ・超音波ケレン工法 ・剥離材併用高圧水洗工法 ・剥離材併用超高圧水洗工法 ・剥離材併用手工具ケレン工法 ・剥離材併用超音波ケレン工法 ・集塵装置付ディスクグラインダーケレン工法 上記工法によらない場合は監督職員と協議の上、承諾を得ること。 下地調整剤(ローラー仕上)の除去工法についてはレベル3の除去工法同等とする 除去工法の試験施工 ・行う ・行わない 作業場の隔離及び養生 ※「建築物の改修、解体時における石綿含有建築用仕上塗材からの石綿粉じん飛散防止処理技術指針」による ・隔離養生不要 ・その他() 官公署等への届出 労働安全衛生法に基づく届出 ・行う ・行わない 石綿障害予防規則に基づく届出 ・行う ・行わない 大気汚染防止法に基づく届出 ・行う ・行わない アスベスト粉じん濃度測定 ・行う(試験施工時) ・行わない 測定場所 ・施行区画周辺又は、敷地境界 ・図示による 測定点 2方向各1点 (注) 試験施工時に濃度測定を行い、結果を監督職員へ提出すること。 なお、アスベストの飛散が確認された場合は、除去工法及び養生方法を再検討し、監督職員と協議すること。 アスベスト粉じん濃度測定方法 計数機器 位相差顕微鏡 メンブレンフィルタの直径 25mm 試料の吸引流量 5l/min 試料の吸引時間 120 min 試料の透明化 アセトントリアセチン法又は、シュウ酸ジェラル法 計数条件 総アスベスト繊維数 200本又は視野数50視野 計数アスベスト 直径3μm未満、長さ5μm以上、長さ×直径比3：1以上 定量限界 0.5 f/l 処分方法 ・埋立処分の場合は、特別管理産業廃棄物として、管理型最終処分場の一定の場所で埋立処分する ・中間処理の場合は、都道府県知事等から処置許可を受けた溶融施設において溶融又は環境大臣の認定を受けた無害化処理施設において無害化処理を行う 除去保温材() 作業場の隔離 ・行う ・行わない 処分方法 ・埋立処分 ・アスベストの中間処理に適する溶融施設 ・認定を受けた無害化処理施設 除去成形板()	<現場代理人に関する事項> 工場製作期間中等に現場代理人の常駐を解除する場合は、その期間に応じた経費の減額変更を行う。 個人情報取り扱いに関する事項 この契約による業務を行うに当たり個人情報(特定個人情報(個人番号をその内容に含む個人情報)をいう。)を含む。)を取り扱う場合においては、下記条文を順守すること。 (基本事項) 第1 この契約による工事の施工者(以下「乙」という。)は、この契約による工事を施工するに当たり、個人情報(特定個人情報(個人番号をその内容に含む個人情報)をいう。)を含む。以下同じ。)を取り扱う際には、個人情報の保護の重要性を認識し、個人の権利利益を侵害することのないようにしなければならない。 (施工者の義務) 第2 乙及びこの契約による工事に従事している者又は従事していた者(以下「乙の従事者」という。)は、当該工事を施工するに当たり、個人情報を取り扱うときは、四日市市個人情報保護条例(平成11年四日市市条例第25号、以下「条例」という。))第11条に規定する義務を負う。 2 乙は、この契約による工事において個人情報が適正に取り扱われるよう乙の従事者を指揮監督しなければならない。 (秘密の保持) 第3 乙及び乙の従事者は、この契約による工事を施工するに当たって知り得た個人情報を当該工事を施工するために必要な範囲を超えて使用し、又は他人に知らせてはならない。 2 乙は、乙の従事者が在職中及び退職後においても、前項の規定を遵守するように必要な措置を講じなければならない。 3 前2項の規定は、この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。 (適正な管理) 第4 乙は、この契約による工事に係る個人情報の漏えい、滅失又は改ざんの防止その他の個人情報の適正な管理のために必要な措置を講じなければならない。 2 乙は、個人情報の適正な管理のため、管理責任者を置くものとする。 3 管理責任者は、個人情報を取り扱う工事の従事者に限定し、これらの従事者に対して、個人情報の管理方法等について適正な指導管理を行わなければならない。 4 四日市市(以下「甲」という。))は、必要があると認めたときは、個人情報の管理状況等に関し、乙に対して報告を求め、又は乙の作業場所を实地に調査することができるものとする。この場合において、甲は乙に必要な改善を指示することができるものとし、乙は、その指示に従わなければならない。 (収集の制限) 第5 乙及び乙の従事者は、この契約による工事を施工するために、個人情報を収集するときは、当該工事を施工するために必要な範囲内で、適法かつ公正な手段により収集しなければならない。 (再提供の禁止) 第6 乙は、あらかじめ甲の承諾があった場合を除き、この契約による工事に係る個人情報を第三者に再提供してはならない。 2 乙は、前項の承諾により再提供する場合は、再提供先における個人情報の適正な取り扱いのために必要な措置を講じなければならない。 3 前項の場合において、乙は、再提供先と本注意事項に準じた個人情報の取り扱いに関する契約を交わすものとする。 (複写、複製の禁止) 第7 乙及び乙の従事者は、あらかじめ甲の指示又は承諾があった場合を除き、この契約による工事を施工するに当たって、甲から提供された個人情報が記録された資料等(以下「資料等」という。)を複写し、又は複製してはならない。 (持ち出しの禁止) 第8 乙及び乙の従事者は、あらかじめ甲の指示又は承諾があった場合を除き、資料等(複写又は複製したものを含む。第9において同じ。)を契約書に指定された作業場所から持ち出してはならない。 2 甲及び乙は、乙が前項の指示又は承諾により資料等を持ち出す場合、その内容、期間、持ち出し先、輸送方法等を書面により確認するものとする。 3 前項の場合において、乙は、資料等に施設又は暗号化等をして関係者以外の者がアクセスできないようにするとともに、資料等を善良なる管理者の注意をもって保管又は管理し、漏えい、滅失及びき損の防止その他適切な管理を行わなければならない。 (資料等の返還) 第9 乙は、この契約による工事を施工するに当たって、甲から提供された個人情報が記録された資料等を、当該工事の終了後速やかに甲に返還し、又は引き渡さなければならない。ただし、甲の指示により廃棄し、又は消去する場合を除く。 2 前項の廃棄又は消去は、次の各号に定めるほか、他に漏えいしないよう適切な方法により行うものとする。 (1) 紙媒体 シュレッダーによる裁断 (2) 電子媒体 データ完全消去ツールによる無意味なデータの上書き、もしくは媒体の破壊 3 乙は、第6の規定により甲の承諾を得てこの契約による工事に係る個人情報を第三者に再提供したときは、当該工事の終了後速やかに当該第三者から資料等を回収のうえ甲に返還し、又は引き渡さなければならない。ただし、甲の指示により、乙又は第三者が資料等を廃棄し、又は消去する場合を除く。 4 前項ただし書の規定により、第三者が資料等を廃棄し、又は消去する場合においては、乙は、当該資料等が廃棄、又は消去されたことを直接確認しなければならない。 (資料等の返還) 第10 乙は、乙の従事者に対し、個人情報の重要性についての認識を深めるとともに、この契約による工事における個人情報の適正な取り扱いに資するための研修・教育を行うものとする。 (罰則等の周知) 第11 乙は、条例第44条、第45条、第47条及び第48条に規定する罰則適用について、乙の従事者に周知するものとする。 (苦情の処理) 第12 乙は、この契約による工事の施工に当たって、個人情報の取り扱いに関して苦情があったときは、適切かつ迅速な処理に努めるものとする。 (事故発生時における報告) 第13 乙は、この個人情報取扱注意事項に違反する事故が生じ、又は生じるおそれがあることを知ったときは、速やかに甲に報告し、甲の指示に従うものとする。 (契約解除及び損害賠償) 第14 甲は、乙又は乙の従事者がこの個人情報取扱注意事項に違反していると認めたときは、契約の解除及び損害賠償の請求をすることができる。
28 産業廃棄物税	本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が本工事により生じた産業廃棄物税が課税対象となった場合には、翌年度に産業廃棄物税納税証明書等を添付して、本工事により生じた産業廃棄物税相当分を請求する事ができる。	39 呼び線	長さ1m以上の入線しない電線管には、1.2mm以上のビニル被覆鉄線を挿入する。	4 特記事項 本工事に配置管理させる者(有資格者) ・特定化学物質等作業主任者(H18.3.31以前の講習修了者) 又は石綿作業主任者(H18.4.1以降の講習修了者)	
29 工事の保険	・建設工事保険(管理財物担保特約に加入)(保険証券の写しを提出) ・請負業者賠償責任保険(保険証券の写しを提出) 加入期間は工事期間を原則とする。(必要に応じて延長するものとする。)	40 再使用機器	取り外し再使用機器は、清掃及び絶縁測定の上え、取り付ける。 ただし、絶縁劣化等使用に耐えない場合は、監督職員に報告する。	暴力団等不当介入に関する事項 1 契約の解除 四日市市の締結する契約等からの暴力団等排除措置要綱(平成20年四日市市告示第23号)第3条又は第4条の規定により、四日市市建設工事等入札参加資格停止基準に基づく入札参加資格停止措置を受けたときは、契約を解除することができる。 2 暴力団等による不当介入を受けたときの義務 (1) 不当介入には、断固拒否するとともに、速やかに警察へ通報並びに業務発注所属へ報告し、警察への捜査協力を行うこと。 (2) 契約の履行において、不当介入を受けたことにより、業務遂行に支障が生じたり、納期等に遅れが生じるおそれがあるときには、業務発注所属と協議を行うこと。 (3) (1)(2)の義務を怠ったときは、四日市市建設工事等入札参加資格停止基準に基づく入札参加資格停止等の措置を講ずる。	
30 建設共済等	下記の制度について加入すること。 ・法定外労災補償制度(加入証明書を提出) 建設業退職金共済制度に加入し、掛金収納書を提出する。 共済証紙購入額 請負額(消費税含む)の0.5/1000以上 ただし、建設業退職金共済については請負額が500万円以上の場合とする。 ※1 他の退職金制度に加入している等、共済証紙を購入する必要がない場合は理由書の提出をもって共済証紙の購入を不要とする。 ※2 契約変更により工事価格が上昇した場合は不足分を追加購入すること。	41 タンブラスイッチ	タンブラスイッチは、図面に特記なき場合、ネーム付とする。		
31 工事実績情報の登録	工事請負代金額500万円以上の工事は、工事実績情報(DORINS)の登録手続きを行うこと。	42 配線器具等	配線器具(スイッチ、コネクタ他)の現場納り等による仕様、数量については監督職員の承諾を受けて変更してもさしつかえない。		
32 施工体制台帳の提出	公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律により、施工体制台帳の写しを提出のこと。 なお、営業者者についても記載すべき下請負人の範囲に含むものとする。	43 機器仕様	使用機器の製造者選定による若干の仕様の相違は、監督職員の承諾を得れば、可とする。		
33 監督職員事務所	・設けない ・設ける	44 合成樹脂配線	合成樹脂配線可とう電線管及び付属品は、P F管(単層管)の波付管以上を使用する。 位置ボックスは金属製とし、電力用には接地を施す。		
34 完成時の提出図書	監督職員の指示により下記のものを出す。 ・工事完成図(竣工図(修正済みの設計図)+施工図) ・完成図 C A Dデータ P D Fデータ(C D-R) ・完成図(A 4版に製本したもの) ・完成図(機械設備図と併せて二折折り製本したもの、3部) ・保全に関する資料等 ・工事写真(紙、C D-R)	45 最上階の埋込配管	最上階の天井スラブへの埋込配管は、原則として避けるものとする。		
35 発生材の処理	・引渡しを要するもの ・引渡しを要するもの以外 構外搬出適切処理とする。 廃棄物管理票(マニフェスト)確認表を作成し、監督員にA票及びD票もしくはE票の確認を受けるものとする。 ・特別管理産業廃棄物(P C B使用機器) P C B使用機器は、関係法令に従い適切に処置する。 ・再使用又は再資源化を図るもの	46 既設との取合い	本工事施工に伴う既設設備の軽微な加工改造は、本工事とする。		
36 工事記録	工事記録は以下のように行うこと。 ○工事写真 工事写真 埋設部、いんべい部、施工工程、材料等 完成写真 ※撮影用具にデジタルカメラを用い、サービスサイズ程度の大きさでA4用紙に印刷し、提出する。 ※次の図書を参考とする。 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「工事写真の撮り方 建築設備編」 ○工事日報、納品伝票 工事日報、納品伝票等の写しは監督員が提出を求めた場合に提出すること。	47 自家発電設備の配管工事等	原動機、発電機と付属各機器間の燃料油、冷却水などの配管、制御用配線等は、監督員の承諾を受けて図面と多少相違してもさしつかえない。		
37 随時検査	設計金額3000万円以上の工事は、四日市市検査規程第8条第6項の規程により発注者が随時検査を求めた場合、監督員の指示に従い受検すること。	48 地中配線の埋設深さ等	地中配線の特記なき埋設深さは、0.6m以上とする。 高圧、特別高圧以外の地中配管にも埋設標識シート(2倍)を設ける ・設けない		
		49 施工条件	・監督員及び依頼部局と協議調整し決定すること。 1. 施工可能日 ・土、日曜日、祝日施工有り ・指定なし ・その他() 2. 施工可能時間帯 ・指定有り(時～ 時) ・指定なし		
		50 地中配線の埋設標	構内線路における埋設標の材質及びその個数は、図面に記載のない場合は次による。 ・鉄製(箇所) ・コンクリート製(箇所)		
		51 資材購入及び下請業者の選定に際しての留意事項	資材購入及び工事の一部を下請業者にて施工する場合、業者の選定に際しては、できる限り市内業者を優先させること。		
		52 一般照明的照度測定	一般照明的照度測定を行う。照度測定箇所は、監督職員の指示による。		
		53 施工図等の取扱い	施工図等の著作権に関わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。		

事業名	平成30年度漏水対策下水道事業		
工事名	新南五味塚ポンプ場内整備工事		
工事場所	四日市市楠町南五味塚地内		
名称	特記仕様書 建築電気設備(2)		
縮尺	—	設計年月日	平成 年 月 日
工種		設計者	
事業主体	四日市市 上下水道局	図面番号	AE-2

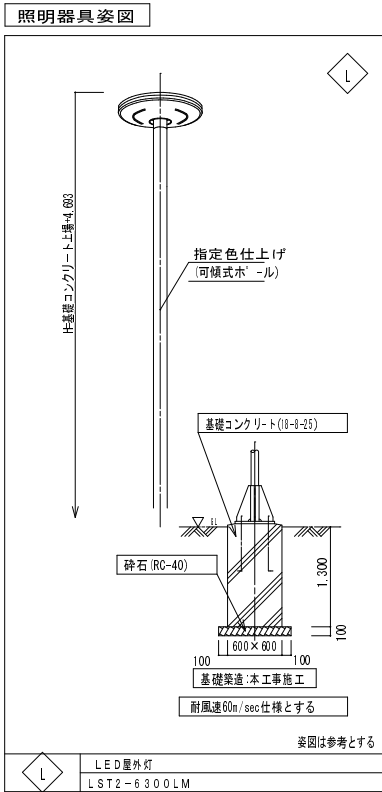


凡 例		
記 号	名 称	備 考
■	電灯動力分電盤 銅板製 続編図参照	図表
□	LED外灯	図表参照
■	ケーブル埋設表示杭 (コンクリート製)	
■	ケーブル埋設表示杭 (鉄製)	
---	電線路 隠ぺい配管工事	
---	電線路 床埋込配管工事	
---	電線路 露出配管工事	
---	電線路 地中配管工事	
○	貫通箇所	
○	露出丸型ボックス	
■	フルボックス 銅板製 寸法確認	
(WP)	防水型 (SUS製)	
■	ブロック或ハンド・ホール H16-R2K60	

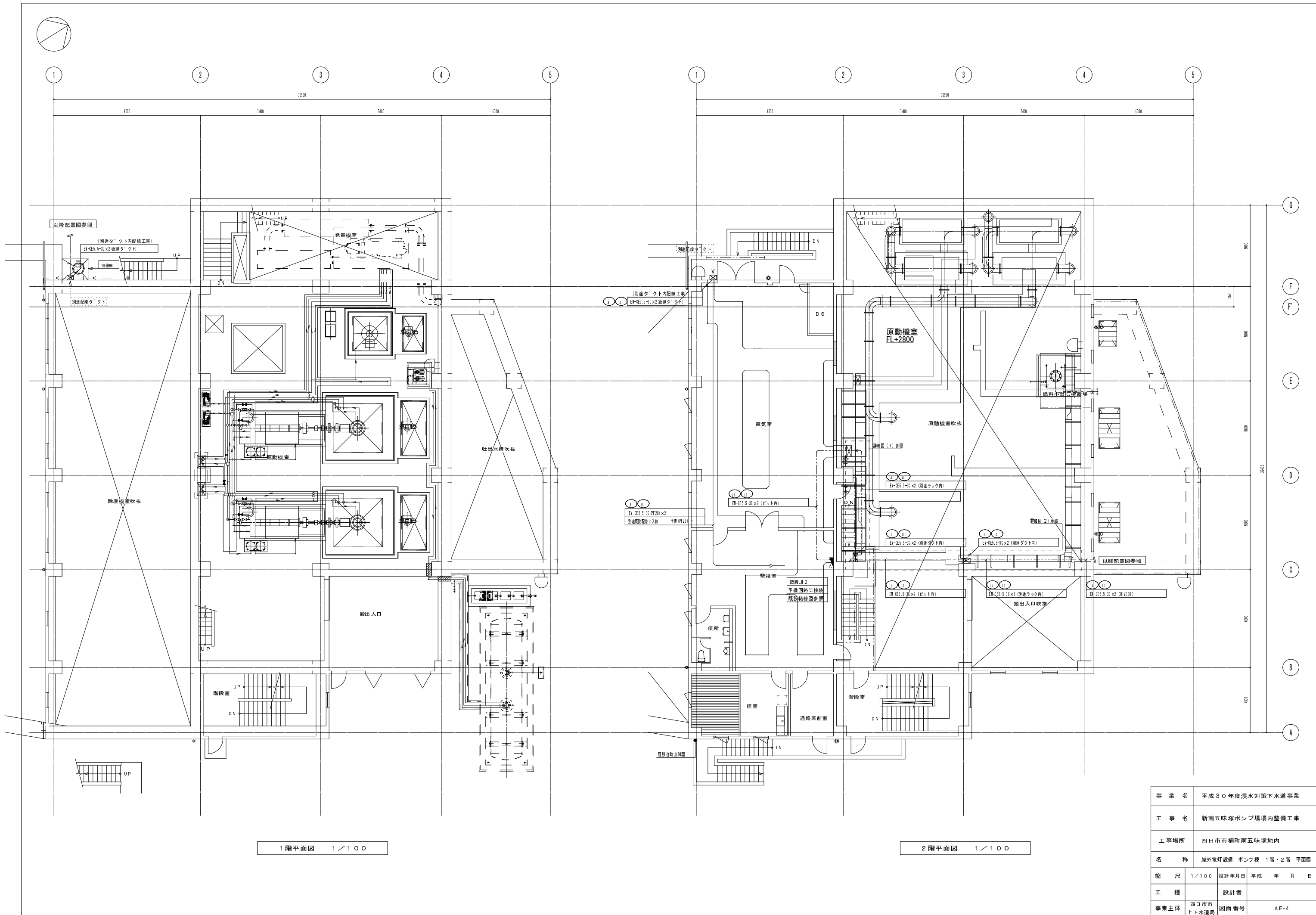
(註) 図中特記なき配管配線は、下記参照とする。		
屋外灯設備	— 1 —	EM-CE5.5-3C (FEP30)
	— 1-1 —	EM-CE5.5-3C×2 (FEP50)
(註) 地中埋設配管経路には、ケーブル埋設表示杭及び表示+7を敷設する事。 (註) 地中埋設配管深さは、6L-600mm以上とする。		

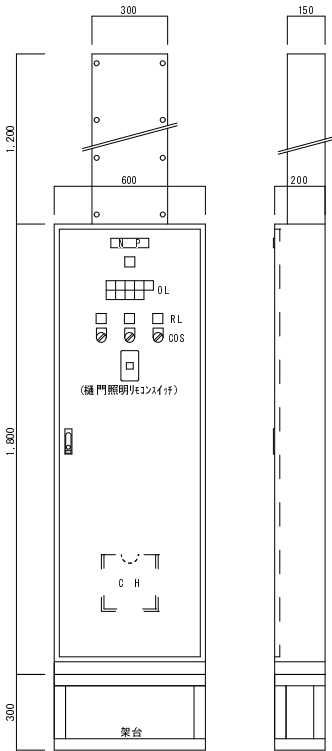
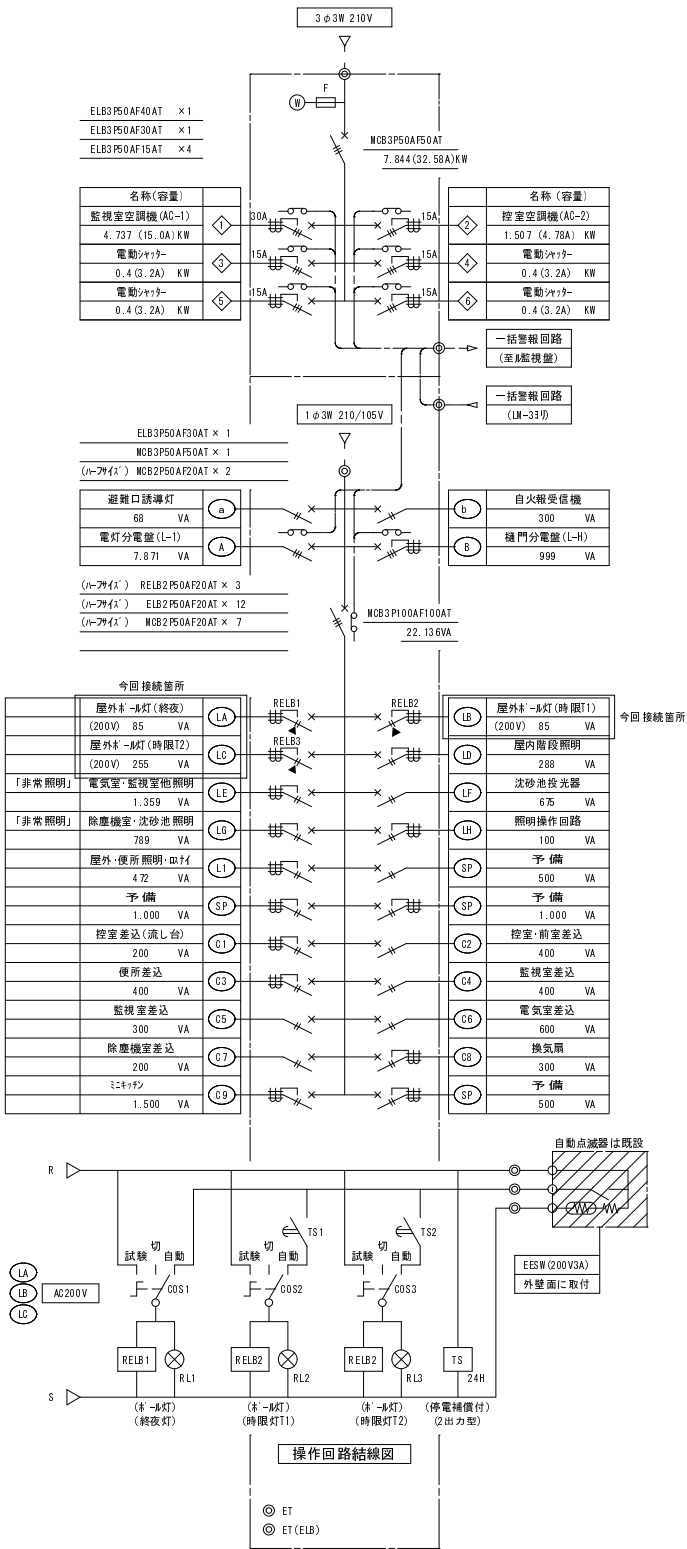


屋外電灯設備図 S=1/200



事業名	平成30年度浸水対策下水道事業
工事名	新南五味塚ポンプ場場内整備工事
工事場所	四日市市楠町南五味塚地内
名称	屋外電灯設備図・姿図
縮尺	1/200
設計年月日	平成 年 月 日
工種	設計者
事業主体	四日市市上下水道局
図面番号	AE-3

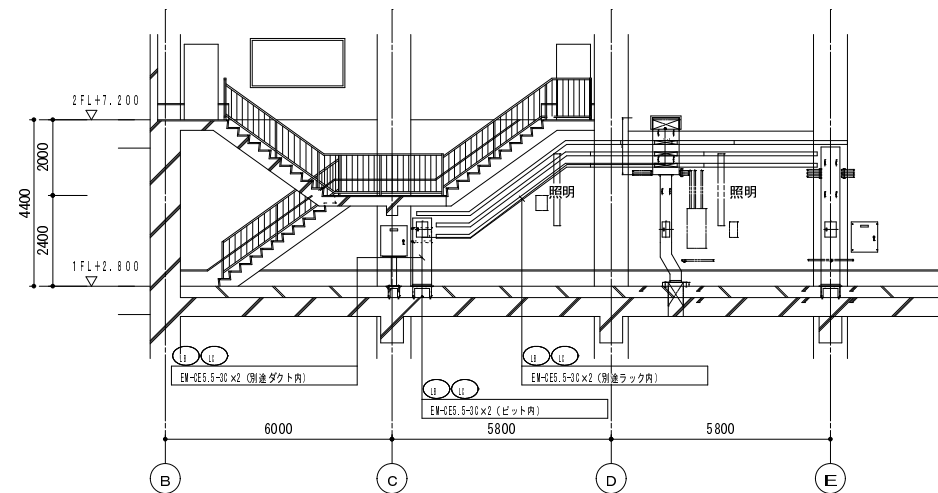




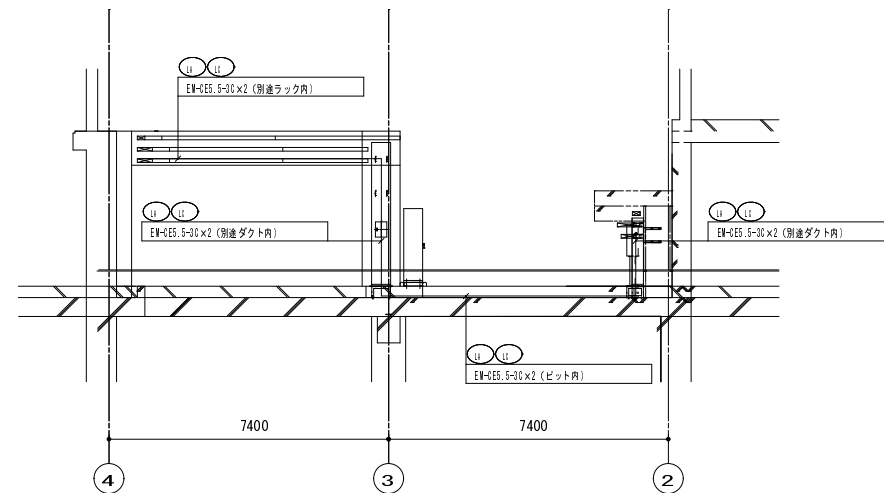
電灯動力分電盤 (LM-2) 結線図
自立型鋼板製扉鍵付 (既設)

電灯動力分電盤 (LM-2) 結線図
(2階) 監視室

事業名	平成30年度浸水対策下水道事業		
工事名	新南五味塚ポンプ場場内整備工事		
工事場所	四日市市楠町南五味塚地内		
名称	盤結線図及び参考姿図（既設）		
縮尺	1/100	設計年月日	平成 年 月 日
工種		設計者	
事業主体	四日市市 上下水道局	図面番号	AE-5



詳細図 (1) 1/100



詳細図 (2) 1/100

事業名	平成30年度浸水対策下水道事業			
工事名	新南五味塚ポンプ場場内整備工事			
工事場所	四日市市楠町南五味塚地内			
名称	屋外電灯設備 詳細図			
縮尺	1/100	設計年月日	平成 年 月 日	
工種		設計者		
事業主体	四日市市 上下水道局	図面番号	AE-6	